

工 種	トンネル漏水対策工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現	行	改 正	備 考
⑬ トンネル漏水対策工 1. 適 用 範 囲 本資料は、既設道路トンネルの漏水対策のうち、導水工法に適用する。 1－1 適用出来る範囲 1－1－1 面導水 (1) 漏水範囲が面状で、幅 2 mの防水板を設置する面的な漏水対策工法の場合 1－1－2 線導水 (1) 漏水範囲が線状で、縦・横方向の漏水箇所に沿って導水材（ゴム系又は樹脂系）又は伸縮性充填材を溝状に設置する局所的な漏水対策工法の場合 1－2 適用出来ない範囲 1－2－1 線導水 (1) 覆工表面に樋を設置する工法の場合 2. 施 工 概 要 2－1 施工フロー 型式別の施工フローは、下記を標準とする。 (1) 面導水 (2) 線導水 (注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 IV-3-⑬-1	⑭ トンネル漏水対策工 1. 適 用 範 囲 本資料は、既設道路トンネルの漏水対策のうち、導水工法に適用する。 1－1 適用出来る範囲 1－1－1 面導水 (1) 漏水範囲が面状で、幅 2,000mmの防水板を設置する面的な漏水対策工法の場合。 1－1－2 線導水（溝切り工） (1) 漏水範囲が線状で、縦・横方向の漏水箇所に沿って導水材（ゴム系又は樹脂系）又は伸縮性充填材を溝状に設置する局所的な漏水対策工法の場合。 1－1－3 線導水（導水樋工） (1) 漏水範囲が線状で、縦方向の漏水箇所に沿って覆工表面に導水幅が 1,000mm 以下の導水樋材を設置する局所的な漏水対策工法の場合。 1－2 適用できない範囲 1－2－1 線導水（導水樋工） (1) 覆工表面に導水幅が 1,000mmを超える導水樋材を設置する場合。 2. 施 工 概 要 2－1 施工フロー 型式別の施工フローは、下記を標準とする。 (1) 面導水 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 施工面の壁面清掃を含む。 図2－1 施工フロー(面導水) 次頁へ移動	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
積算上の注意事項			(控え頁) 1／6

工 種	トンネル漏水対策工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行	現 行	
現 行		改 正		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
前頁から移動		(2) 線導水 (溝切り工) 照明設備等撤去 機材搬入 コンクリート切断 コンクリートはつり 導水材設置 機材搬出 照明設備等再設置 コンクリート積込・運搬 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 施工面の壁面清掃を含む。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. コンクリート殻積込・運搬が必要な場合は、「第Ⅱ編 2 章共通工⑨-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法)) 4-3 コンクリート殻積込 (断面修復工), 4-4 コンクリート殻運搬 (断面修復工)」により別途計上すること。 図2-2 施工フロー(線導水(溝切り工))		
現行なし		(3) 線導水 (導水樋工) 照明設備等撤去 機材搬入 アンカー取付・導水樋材設置 機材搬出 照明設備等再設置 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 施工面の壁面清掃を含む。 図2-3 施工フロー(線導水(導水樋工))		
積算上の注意事項				(控え頁) 2／6

工 種	トンネル漏水対策工
-----	-----------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																											
現 行				改 正				備 考																																																																																									
3. 施 工 パッケージ 3－1 面導水 （1）条件区分 面導水における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 （注）1. 既設道路トンネルの面導水による漏水対策作業の他、シート等飛散防止材、機械器具損料（ハンマドリル、電気ドリル、ディスクサンダ、インパクトドライバ、インパクトレンチ、電動リベット等）及び電力に関する経費の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、面導水（材料費）は含まない。 2. 面導水材の材料費は別途計上する。 （2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 1 面導水 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">機 械</td><td>K 1</td><td>高所作業車 トラック架装リフト・垂直型 幅広デッキタイプ 作業床高 10～12m</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 3－2 面導水（材料費） （1）条件区分 面導水における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 （注）面導水（材料費）は、必要量を計上する。 3－3 線導水 （1）条件区分 線導水における積算条件区分はない。 積算単位は、m とする。 （注）1. 既設道路トンネルの線導水による漏水対策作業の他、シート等飛散防止材、機械器具損料（コンクリートカッタ、ピックハンマ、ディスクサンダ等）及び電力に関する経費の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、線導水（材料費）は含まない。 2. 線導水材の材料費は別途計上する。 IV-3-⑬-2				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・垂直型 幅広デッキタイプ 作業床高 10～12m	賃料	K 2	—		K 3	—		R 1	特殊作業員		労 務	R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		Z 1	軽油 バトロール給油		材 料	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		3. 施 工 パッケージ 3－1 面導水 （1）条件区分 面導水における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 （注）1. 既設道路トンネルの面導水による漏水対策作業の他、壁面清掃、シート等飛散防止材、機械器具損料（ハンマドリル、電気ドリル、ディスクサンダ、インパクトドライバ、インパクトレンチ、電動リベット等）及び電力に関する経費の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、面導水（材料費）は含まない。 2. 面導水材の材料費は別途計上する。 （2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 1 面導水 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">機 械</td><td>K 1</td><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型・最大地上高 12m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 3－2 面導水（材料費） （1）条件区分 面導水における積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 （注）面導水（材料費）は、必要量を計上する。 3－3 線導水（溝切り工） （1）条件区分 線導水（溝切り工）における積算条件区分はない。 積算単位は、m とする。 （注）1. 既設道路トンネルの線導水（溝切り工）による漏水対策作業の他、壁面清掃、コンクリート破の集積場所までの現場内小運搬（180m 程度）、シート等飛散防止材、機械器具損料（コンクリートカッタ、ピックハンマ、ディスクサンダ等）及び電力に関する経費の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、線導水（溝切り工）（材料費）は含まない。 2. 線導水材（溝切り工）の材料費は別途計上する。				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型・最大地上高 12m・最大積載荷重 1,000kg	賃料	K 2	—		K 3	—		R 1	特殊作業員		労 務	R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		Z 1	軽油 バトロール給油		材 料	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・垂直型 幅広デッキタイプ 作業床高 10～12m	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
	R 1	特殊作業員																																																																																															
労 務	R 2	普通作業員																																																																																															
	R 3	土木一般世話役																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
材 料	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
	市場単価	S	—																																																																																														
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型・最大地上高 12m・最大積載荷重 1,000kg	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
	R 1	特殊作業員																																																																																															
労 務	R 2	普通作業員																																																																																															
	R 3	土木一般世話役																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
材 料	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
	市場単価	S	—																																																																																														
積算上の注意事項								（控え頁） 3／6																																																																																									

工 種	トンネル漏水対策工
-----	-----------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																
現 行				改 正		備 考																																																																																														
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 線導水 代表機材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高 12m</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 5.0m3／min</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table> 3－4 線導水（材料費） (1) 条件区分 線導水（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、 mとする。 (注) 線導水（材料費）は、必要量を計上する。				項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高 12m	賃料	K 2	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 5.0m3／min	賃料	K 3	－		労務	R 1	特殊作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	普通作業員		R 4	－		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 線導水(溝切り工) 代表機材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラット ホーム型・最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超 低騒音型)・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕吐出 量 3.5～3.7m3／min・アフタークーラー仕様</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table> 3－4 線導水（溝切り工）（材料費） (1) 条件区分 線導水（溝切り工）（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、 mとする。 (注) 線導水（溝切り工）（材料費）は、必要量を計上する。 3－5 線導水（導水樋工） (1) 条件区分 条件区分は次表を標準とする。 <table><caption>表3. 3 線導水(導水樋工) 積算条件区分一覧 (積算単位:m)</caption><tr><td>導水幅</td></tr><tr><td>300mm 以下</td></tr><tr><td>300mm 超え 500mm 以下</td></tr><tr><td>500mm 超え 700mm 以下</td></tr><tr><td>700mm 超え 1,000mm 以下</td></tr></table> (注) 1. 既設道路トンネルの線導水（導水樋工）による漏水対策作業の他、壁面清掃、シート等飛散防 止材、機械器具損料（電気ドリル、ディスクサンダ、インパクトドライバ等）及び電力に関する 経費の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、 線導水（導水樋工）（材料費）は含まない。 2. 線導水材（導水樋工）の材料費は別途計上する。			項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラット ホーム型・最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	賃料	K 2	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超 低騒音型)・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕吐出 量 3.5～3.7m3／min・アフタークーラー仕様	賃料	K 3	－		労務	R 1	特殊作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	普通作業員		R 4	－		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		導水幅	300mm 以下	300mm 超え 500mm 以下	500mm 超え 700mm 以下	700mm 超え 1,000mm 以下	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機材規格	備考																																																																																																	
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高 12m	賃料																																																																																																	
	K 2	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 5.0m3／min	賃料																																																																																																	
	K 3	－																																																																																																		
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																		
	R 3	普通作業員																																																																																																		
	R 4	－																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																		
	Z 2	－																																																																																																		
	Z 3	－																																																																																																		
	Z 4	－																																																																																																		
市場単価	S	－																																																																																																		
項目		代表機材規格	備考																																																																																																	
機械	K 1	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラット ホーム型・最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	賃料																																																																																																	
	K 2	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超 低騒音型)・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕吐出 量 3.5～3.7m3／min・アフタークーラー仕様	賃料																																																																																																	
	K 3	－																																																																																																		
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																		
	R 3	普通作業員																																																																																																		
	R 4	－																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																		
	Z 2	－																																																																																																		
	Z 3	－																																																																																																		
	Z 4	－																																																																																																		
市場単価	S	－																																																																																																		
導水幅																																																																																																				
300mm 以下																																																																																																				
300mm 超え 500mm 以下																																																																																																				
500mm 超え 700mm 以下																																																																																																				
700mm 超え 1,000mm 以下																																																																																																				
IV-3-⑬-3				現行なし																																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 4／6																																																																																																

工 種	トンネル漏水対策工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																													
		現 行																																													
現	行	改 正	備 考																																												
	現行なし	(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 4 線導水(導水樋工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型・最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－6 線導水（導水樋工）（材料費） (1) 条件区分 線導水（導水樋工）（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 線導水（導水樋工）（材料費）は、必要量を計上する。	項目	代表機労材規格		備考	機 械	K 1	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型・最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	賃料	K 2	—		K 3	—		労 務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材 料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機労材規格		備考																																												
機 械	K 1	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型・最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	賃料																																												
	K 2	—																																													
	K 3	—																																													
労 務	R 1	普通作業員																																													
	R 2	土木一般世話役																																													
	R 3	特殊作業員																																													
	R 4	—																																													
材 料	Z 1	軽油 バトロール給油																																													
	Z 2	—																																													
	Z 3	—																																													
	Z 4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 5／6																																												

工 種	トンネル漏水対策工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正			改 正	現 行																																																					
現 行		改 正				備 考																																																				
4. 施工単価入力基準表 (1) 面導水 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434010</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (2) 面導水 (材料費) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434011</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (注) 数量は必要量を入力し、面導水材単価 (Y-1695000) [円／m2] を単価登録すること。 (3) 線導水 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434030</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr></table> (4) 線導水 (材料費) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434031</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr></table> (注) 数量は必要量を入力し、線導水材単価 (Y-1696000) [円／m] を単価登録すること。 IV-3-⑬-4		パッケージコード	CB434010	施 工 単 位	m2	パッケージコード	CB434011	施 工 単 位	m2	パッケージコード	CB434030	施 工 単 位	m	パッケージコード	CB434031	施 工 単 位	m	4. 施工単価入力基準表 (1) 面導水 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434010</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (2) 面導水 (材料費) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434011</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (注) 数量は必要量を入力し、面導水材単価 (Y-1695000) [円／m2] を単価登録すること。 (3) 線導水 (溝切り工) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434030</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr></table> (4) 線導水 (溝切り工) (材料費) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434031</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr></table> (注) 数量は必要量を入力し、線導水材 (溝切り工) 単価 (Y-1696000) [円／m] を単価登録すること。 (5) 線導水 (導水樋工) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434040</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">導水幅</td></tr><tr><td>各 種</td><td colspan="3">①300mm 以下 ②300mm 超え 500mm 以下 ③500mm 超え 700mm 以下 ④700mm 超え 1,000mm 以下</td></tr></table> (6) 線導水 (導水樋工) (材料費) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB434041</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr></table> (注) 数量は必要量を入力し、線導水材 (導水樋工) 単価 (Y-1701001) [円／m] を単価登録すること。				パッケージコード	CB434010	施 工 単 位	m2	パッケージコード	CB434011	施 工 単 位	m2	パッケージコード	CB434030	施 工 単 位	m	パッケージコード	CB434031	施 工 単 位	m	パッケージコード	CB434040	施 工 単 位	m	施 工 区 分	J 1				導水幅			各 種	①300mm 以下 ②300mm 超え 500mm 以下 ③500mm 超え 700mm 以下 ④700mm 超え 1,000mm 以下			パッケージコード	CB434041	施 工 単 位	m	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
パッケージコード	CB434010	施 工 単 位	m2																																																							
パッケージコード	CB434011	施 工 単 位	m2																																																							
パッケージコード	CB434030	施 工 単 位	m																																																							
パッケージコード	CB434031	施 工 単 位	m																																																							
パッケージコード	CB434010	施 工 単 位	m2																																																							
パッケージコード	CB434011	施 工 単 位	m2																																																							
パッケージコード	CB434030	施 工 単 位	m																																																							
パッケージコード	CB434031	施 工 単 位	m																																																							
パッケージコード	CB434040	施 工 単 位	m																																																							
施 工 区 分	J 1																																																									
	導水幅																																																									
各 種	①300mm 以下 ②300mm 超え 500mm 以下 ③500mm 超え 700mm 以下 ④700mm 超え 1,000mm 以下																																																									
パッケージコード	CB434041	施 工 単 位	m																																																							
積算上の注意事項						(控え頁) 6／6																																																				

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																					
②⑩ トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))				②⑩－1 トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																					
1. 適用範囲				1. 適用範囲				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																					
本資料は、トンネルのひび割れ補修における1トンネル当りの低圧注入作業（圧縮空気、ゴムやバネの復元力などを利用して加圧できる専用器具を用いて注入を行うもの）に適用する。				本資料は、 <u>高所作業車を用いた</u> トンネルのひび割れ補修における1トンネル当りの低圧注入作業（圧縮空気、ゴムやバネの復元力などを利用して加圧できる専用器具を用いて注入を行うもの）に適用する。																									
また、覆道や道路ボックスカルバート等についても適用することが出来る。				また、 <u>覆道シェッド</u> や <u>道路ボックスカルバート</u> ・ <u>大型カルバート</u> 等についても適用することが出来る。																									
なお、以下の条件は適用範囲外とする。				なお、以下の条件は適用範囲外とする。																									
・グリースポンプ等の手動ポンプを用いて手動で注入を行う場合				・グリースポンプ等の手動ポンプを用いて手動で注入を行う場合																									
・足踏みポンプや電動ポンプ等の機械を用いて注入を行う場合				・足踏みポンプや電動ポンプ等の機械を用いて注入を行う場合																									
・「第Ⅱ編2章共通工⑨－2構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法）」）に適合する場合。				・「第Ⅱ編2章共通工⑨－2構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法）」）に適合する場合。																									
(注) 1トンネルとは、1道路トンネルの全体を指し、断面の形状や延長による区分は設けない。また、トンネルと覆道等が連続している場合は、1トンネルと考える。				(注) 1トンネルとは、1道路トンネルの全体を指し、断面の形状や延長による区分は設けない。また、トンネルと <u>覆道シェッド</u> 等が連続している場合は、1トンネルと考える。																									
2. 施工概要				2. 施工概要																									
施工フローは、下記を標準とする。				施工フローは、下記を標準とする。																									
機材搬入 ↓ ひび割れ部の清掃 ↓ 注入孔の設置 ↓ シール材塗布及び注入器具取付 ↓ 注入材の注入（追加注入含む） ↓ シール材及び注入器具撤去 ↓ 仕上 ↓ 機材搬出				機材搬入 ↓ ひび割れ部の清掃 ↓ 注入孔の設置 ↓ シール材塗布及び注入器具取付 ↓ 注入材の注入（追加注入含む） ↓ シール材及び注入器具撤去 ↓ 仕上 ↓ 機材搬出				現行どおり																					
(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。				(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。																									
2. 注入器具の種類によって作業の順序が前後する場合も、適用することが出来る。				2. 注入器具の種類によって作業の順序が前後する場合も、適用することが出来る。																									
3. 本歩掛には、トンネル内の高所作業車による移動を含んでいる。				3. 本歩掛には、トンネル内の高所作業車による移動を含んでいる。																									
図2－1 施工フロー				図2－1 施工フロー																									
3. 機種の選定				3. 機種の選定				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																					
機械・規格は、次表を標準とする。				機械・規格は、次表を標準とする。																									
表3. 1 機種の選定				表3. 1 機種の選定																									
<table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>高 所 作 業 車</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr></table>				機 械 名	規 格	単位	数量	摘要	高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	台	1		<table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>高 所 作 業 車</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 <u>作業は高最大地上高</u>9.9m・<u>最大</u>積載荷重1,000kg</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr></table>				機 械 名	規 格	単位	数量	摘要	高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 <u>作業は高最大地上高</u> 9.9m・ <u>最大</u> 積載荷重1,000kg	台	1			
機 械 名	規 格	単位	数量	摘要																									
高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	台	1																										
機 械 名	規 格	単位	数量	摘要																									
高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 <u>作業は高最大地上高</u> 9.9m・ <u>最大</u> 積載荷重1,000kg	台	1																										
(注) 高所作業車は、賃料とする。				(注) 高所作業車は、賃料とする。																									
IV-3-⑩-1				IV-3-⑩-1																									
積算上の注意事項								(控え頁) 1／4																					

工 種	トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))
-----	--------------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																																	
現 行				改 正		備 考																																																																																																																																															
(2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>高 所 作 業 車</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td><td>機-29</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 機械賃料数量→ 1.32</td></tr></table> 9. 施工単価入力基準表 (1) トンネル補修工 (ひび割れ補修工 (低圧注入工法)) <table><tr><th>施工歩掛コード</th><th>WB437010</th><th>施工単位</th><th>トンネル</th></tr><tr><th>施 工 区 分</th><th colspan="4">入力条件</th></tr><tr><th rowspan="2">各 種</th><th>J 1</th><th>J 2</th><th>J 3</th><th>J 4</th></tr><tr><td>1トンネル当り 補修延べ延長 (m) (実数入力)</td><td>1トンネル当りの 注入材使用量 (kg) (実数入力)</td><td>1トンネル当りの シール材設計量 (kg) (実数入力)</td><td>1トンネル当りの 低圧注入器具使用量 (個) (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1条件は、1トンネル当りの延べ施工量 (m／トンネル) を入力する。 2. J 2, J 4条件は、材料ロス分を含む必要量を入力する。 3. 本コードはシール材の材料ロスを含んでいるため、J 3条件の設計量はロス率を含まない数量を入力すること。 4. 注入材料単価 (Y-1633001) [円／kg]、シール材料単価 (Y-1670000) [円／kg] 及び低圧注入器具単価 (Y-0800005) [円／個] を単価登録すること。 【参考】 1トンネルについて 道路トンネルと覆道等が連続している場合は、1トンネルと考える。 覆道部 トンネル部 IV-3-20-3				機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 機械賃料数量→ 1.32	施工歩掛コード	WB437010	施工単位	トンネル	施 工 区 分	入力条件				各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	1トンネル当り 補修延べ延長 (m) (実数入力)	1トンネル当りの 注入材使用量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの シール材設計量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの 低圧注入器具使用量 (個) (実数入力)	27. 単 価 表 (1) ひび割れ補修工 (低圧注入工法) 1トンネル当り単価表 補修延べ延長 25m 以下の場合 <table><tr><th colspan="2"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB437010</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>1.341</td><td>表4.1、表5.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1.341</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1.341</td><td>〃</td></tr><tr><td>高所作業車運転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>日</td><td>1.341</td><td>表3.1, 表4.1、表5.1 機械賃料</td></tr><tr><td>注 入 材</td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要数量計上 (注)1</td></tr><tr><td>シ ー ル 材</td><td></td><td>人</td><td></td><td>式1.1</td></tr><tr><td>低圧注入器具</td><td></td><td>個</td><td></td><td>必要数量計上 (注)1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 必要数量とは、材料ロス分を含む。 2. 1.341：1トンネル当り補修延べ延長 (m) 施工歩掛 2.131トン当り施工歩掛 (2) ひび割れ補修工 (低圧注入工法) 1トンネル当り単価表 補修延べ延長 25m を超える場合 <table><tr><th colspan="2"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB437010</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>L/10×n2</td><td>表4.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>L/10×n2</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>L/10×n2</td><td>〃</td></tr><tr><td>高所作業車運転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>日</td><td>L/10×n2</td><td>表3.1, 表4.2 機械賃料</td></tr><tr><td>注 入 材</td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要数量計上 (注)1</td></tr><tr><td>シ ー ル 材</td><td></td><td>人</td><td></td><td>式1.1</td></tr><tr><td>低圧注入器具</td><td></td><td>個</td><td></td><td>必要数量計上 (注)1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 必要数量とは、材料ロス分を含む。 2. L：1トンネル当り補修延べ延長 (m) 3. n 2：10m 当り施工歩掛 (27.3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>高 所 作 業 車</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>機-29</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 19 機械賃料数量→ 1.32</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB437010	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	1.34 1	表4.1、 表5.1	特 殊 作 業 員		人	1.34 1	〃	普 通 作 業 員		人	1.34 1	〃	高所作業車運転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日	1.34 1	表3.1, 表4.1、 表5.1 機械賃料	注 入 材		kg		必要数量計上 (注)1	シ ー ル 材		人		式1.1	低圧注入器具		個		必要数量計上 (注)1	諸 雑 費		式	1	表5.1	計							施工歩掛コード	WB437010	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	L/10×n2	表4.2	特 殊 作 業 員		人	L/10×n2	〃	普 通 作 業 員		人	L/10×n2	〃	高所作業車運転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日	L/10×n2	表3.1, 表4.2 機械賃料	注 入 材		kg		必要数量計上 (注)1	シ ー ル 材		人		式1.1	低圧注入器具		個		必要数量計上 (注)1	諸 雑 費		式	1	表5.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 19 機械賃料数量→ 1.32	前頁から移動	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																		
高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 機械賃料数量→ 1.32																																																																																																																																																		
施工歩掛コード	WB437010	施工単位	トンネル																																																																																																																																																		
施 工 区 分	入力条件																																																																																																																																																				
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																																																	
	1トンネル当り 補修延べ延長 (m) (実数入力)	1トンネル当りの 注入材使用量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの シール材設計量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの 低圧注入器具使用量 (個) (実数入力)																																																																																																																																																	
		施工歩掛コード	WB437010																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	1.34 1	表4.1、 表5.1																																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		人	1.34 1	〃																																																																																																																																																	
普 通 作 業 員		人	1.34 1	〃																																																																																																																																																	
高所作業車運転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日	1.34 1	表3.1, 表4.1、 表5.1 機械賃料																																																																																																																																																	
注 入 材		kg		必要数量計上 (注)1																																																																																																																																																	
シ ー ル 材		人		式1.1																																																																																																																																																	
低圧注入器具		個		必要数量計上 (注)1																																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																					
		施工歩掛コード	WB437010																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	L/10×n2	表4.2																																																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		人	L/10×n2	〃																																																																																																																																																	
普 通 作 業 員		人	L/10×n2	〃																																																																																																																																																	
高所作業車運転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日	L/10×n2	表3.1, 表4.2 機械賃料																																																																																																																																																	
注 入 材		kg		必要数量計上 (注)1																																																																																																																																																	
シ ー ル 材		人		式1.1																																																																																																																																																	
低圧注入器具		個		必要数量計上 (注)1																																																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																					
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																		
高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕 作業床高 最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 21 19 機械賃料数量→ 1.32																																																																																																																																																		
現行なし				次頁へ移動																																																																																																																																																	
積算上の注意事項				(控え頁) 3／4																																																																																																																																																	

工 種	トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))
-----	--------------------------

改 正 理 由		一部改正			改 正 現 行																											
現 行		改 正					備 考																									
現行無し		【参考】1トンネルについて 道路トンネルと覆造シールド等が連続している場合は、1トンネルと考える。 覆造シールド部 トンネル部 09. 施工単価入力基準表 (1) トンネル補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法）） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB437010</td><td>施工単位</td><td colspan="3">トンネル</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td></td><td colspan="5">入力条件</td></tr><tr><td></td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>各 種</td><td>1トンネル当り 補修延べ延長 区分 ①25m 以下 ②25m を超える</td><td>1トンネル当り 補修延べ延長 (m) (実数入力)</td><td>1トンネル当りの 注入材使用量 (kg) (実数入力)</td><td>1トンネル当りの シール材設計量 (kg) (実数入力)</td><td>1トンネル当りの 低圧注入器具 使用量 (個) (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①を選択した場合、J 2 条件は入力する必要はない。 →2. J →2 条件は、1トンネル当りの延べ施工量（m／トンネル）を入力する。 →3. J →3, J →5 条件は、材料ロス分を含む必要量を入力する。 →4. 本コードはシール材の材料ロスを含んでいるため、J →4 条件の設計量はロス率を含まない数量を入力すること。 →5. 注入材料単価(Y-1633001) [円／kg]、シール材料単価(Y-1670000) [円／kg] 及び低圧注入器具単価(Y-08000051626001) [円／個] を単価登録すること。					施工歩掛コード	WB437010	施工単位	トンネル			施 工 区 分		入力条件						J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	1トンネル当り 補修延べ延長 区分 ①25m 以下 ②25m を超える	1トンネル当り 補修延べ延長 (m) (実数入力)	1トンネル当りの 注入材使用量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの シール材設計量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの 低圧注入器具 使用量 (個) (実数入力)	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
施工歩掛コード	WB437010	施工単位	トンネル																													
施 工 区 分		入力条件																														
	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																											
各 種	1トンネル当り 補修延べ延長 区分 ①25m 以下 ②25m を超える	1トンネル当り 補修延べ延長 (m) (実数入力)	1トンネル当りの 注入材使用量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの シール材設計量 (kg) (実数入力)	1トンネル当りの 低圧注入器具 使用量 (個) (実数入力)																											
積算上の注意事項							(控え頁) 4／4																									

工 種	トンネル補修工(断面修復工(左官工法))
-----	----------------------

改 正 理 由	新規	改 正	
	現 行	現 行	
	現 行	改 正	備 考
	現行無し	②0ー2 トンネル補修工(断面修復工(左官工法)) 1. 適 用 範 囲 本資料は、高所作業車を用いたトンネルの断面修復における1トンネル当りの左官作業に適用する。 また、シェッドや大型カルバート等についても適用することが出来る。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・1トンネルに鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む作業と含まない作業が混在する場合 ・「第Ⅱ編第2章共通工②ー3 構造物補修工(断面修復工(左官工法))」に適合する場合 (注) 1トンネルとは、1道路トンネルの全体を指し、断面の形状や延長による区分は設けない。また、トンネルとシェッド等が連続している場合は、1トンネルと考える。 1ー1 コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) 断面修復工(左官工法)により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。 第Ⅱ編第2章共通工②ー3 構造物補修工(断面修復工(左官工法))により別途計上する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 ↓ 配 筋 状 況 確 認 (鉄 筋 探 査 等) ↓ コンクリートはつり (カッター工含む) ↓ 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 (処 理 を 行 う 場 合) ↓ 断 面 修 復 (左 官) (プ ラ イ マー 含 む) ↓ 仕 上 げ ↓ 機 材 撤 去 → コンクリート殻 積 込 ・ 運 搬 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げにはシート被覆程度の養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. 処分費は別途計上とする。 5. 本歩掛には、トンネル内の高所作業車による移動を含んでいる。 図2ー1 施工フロー	
積算上の注意事項			(控え頁) 1／6

工 種	トンネル補修工(断面修復工(左官工法))
-----	----------------------

改 正 理 由		新 規		改 正														
		現 行		現 行														
現 行 無 し				備 考														
				3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。														
				表3. 1 機 種 の 選 定														
				<table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>高所作業車</td><td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr></table>				機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	台	1		
				機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要										
				高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	台	1											
				(注) 高所作業車は、賃料とする。														
				4. 施 工 歩 掛														
				4-1 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む） コンクリートはつり（カッター工含む），鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理，左官（プライマー含む），仕上げの歩掛は，次表を標準とする。														
				表 4. 1 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1トンネル当り修復延べ体積 0.1m3 以下]の場合														
				<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (n1) (1 トンネル当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>3.8</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>6.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>4.0</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>日</td><td>3.8</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (n1) (1 トンネル当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	3.8	特 殊 作 業 員	人	6.0	普 通 作 業 員	人
名 称	単位	数量 (n1) (1 トンネル当り)																
土 木 一 般 世 話 役	人	3.8																
特 殊 作 業 員	人	6.0																
普 通 作 業 員	人	4.0																
高 所 作 業 車 運 転	日	3.8																
表 4. 2 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1トンネル当り修復延べ体積 0.1m3 を超える]場合																		
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (n2) (0.1m³ 当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>3.8</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>6.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>4.0</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>日</td><td>3.8</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (n2) (0.1m³ 当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	3.8	特 殊 作 業 員	人	6.0	普 通 作 業 員	人	4.0	高 所 作 業 車 運 転	日	3.8
名 称	単位	数量 (n2) (0.1m³ 当り)																
土 木 一 般 世 話 役	人	3.8																
特 殊 作 業 員	人	6.0																
普 通 作 業 員	人	4.0																
高 所 作 業 車 運 転	日	3.8																
(注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は，別途考慮する。 3. コンクリート般の集積場所までの現場内小運搬（250mまで）を含む。																		
4-2 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） コンクリートはつり（カッター工含む），左官（プライマー含む），仕上げの歩掛は，次表を標準とする。																		
表 4. 3 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1トンネル当り修復延べ体積 0.1 m3 以下]の場合																		
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (n3) (1 トンネル当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>3.6</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>5.6</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>3.8</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>日</td><td>3.6</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (n3) (1 トンネル当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	3.6	特 殊 作 業 員	人	5.6	普 通 作 業 員	人	3.8	高 所 作 業 車 運 転	日	3.6
名 称	単位	数量 (n3) (1 トンネル当り)																
土 木 一 般 世 話 役	人	3.6																
特 殊 作 業 員	人	5.6																
普 通 作 業 員	人	3.8																
高 所 作 業 車 運 転	日	3.6																

工 種	トンネル補修工(断面修復工(左官工法))
-----	----------------------

改 正 理 由	新規	改 正																															
	現 行	現 行																															
	現 行 無 し	表4.4 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1トンネル当り修復延べ体積 0.1 m3 を超える]場合 <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量 (n4) (0.1 m³ 当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>3.6</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>〃</td><td>5.6</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>3.8</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>日</td><td>3.6</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート製の集積場所までの現場内小運搬 (250mまで)を含む。 4－3 コンクリート設置込 (断面修復工) コンクリート設置込は、「第Ⅱ編第2 章共通工④－3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))」 4－3 コ ンクリート設置込 (断面修復工)」により別途計上する。 4－4 コンクリート設置搬 (断面修復工) コンクリート設置搬は、「第Ⅱ編第2 章共通工④－3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))」 4－4 コ ンクリート設置搬 (断面修復工)」により別途計上する。 4－5 材料の使用数量 断面修復材の使用数量は、次式による。 使用数量 (m3)＝設計数量 (m3) × (1＋K) ……式4. 1 K：ロス率 表4.5 ロス率(K) <table><tr><td>ロ ス 率</td><td>+0.18</td></tr></table> 4－6 諸雑費 諸雑費は、カッター、はつり及び鉄筋ケレン作業に必要な器具 (電動ピック、ディスクサンダ、替え刃、 集塵機、飛散防止ネット、ほうき等)、防錆処理・プライマー塗布作業に必要な器具 (刷毛、ハンドミキサー 等) 及び材料、左官作業に必要な器具 (金コテ、ハンドミキサー等)、 電力に関する経費等の費用であり、 労務費の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。 表4.6 諸雑費率 (%) <table><tr><th>条 件</th><th>1 トンネル当り修復延べ体積</th><th>諸雑費率</th></tr><tr><td rowspan="2">鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む</td><td>0.1 m3 以下の場合</td><td>6</td></tr><tr><td>0.1 m3 を超える場合</td><td>6</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない</td><td>0.1 m3 以下の場合</td><td>5</td></tr><tr><td>0.1 m3 を超える場合</td><td>5</td></tr></table>	名 称	単 位	数 量 (n4) (0.1 m ³ 当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	3.6	特 殊 作 業 員	〃	5.6	普 通 作 業 員	〃	3.8	高 所 作 業 車 運 転	日	3.6	ロ ス 率	+0.18	条 件	1 トンネル当り修復延べ体積	諸雑費率	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	0.1 m3 以下の場合	6	0.1 m3 を超える場合	6	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない	0.1 m3 以下の場合	5	0.1 m3 を超える場合	5	備 考
名 称	単 位	数 量 (n4) (0.1 m ³ 当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	3.6																															
特 殊 作 業 員	〃	5.6																															
普 通 作 業 員	〃	3.8																															
高 所 作 業 車 運 転	日	3.6																															
ロ ス 率	+0.18																																
条 件	1 トンネル当り修復延べ体積	諸雑費率																															
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	0.1 m3 以下の場合	6																															
	0.1 m3 を超える場合	6																															
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない	0.1 m3 以下の場合	5																															
	0.1 m3 を超える場合	5																															
積算上の注意事項		(控え頁)	3／6																														

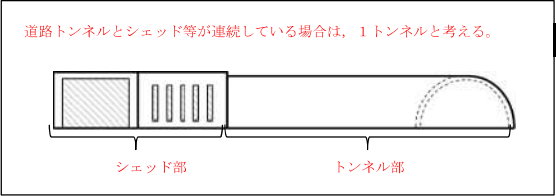
工 種	トンネル補修工(断面修復工(左官工法))
-----	----------------------

改 正 理 由		新規		改 正 現 行																																																																																																																																						
現 行		改 正				備 考																																																																																																																																				
現行無し		5. 単価表 (1) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む） 1 トンネル当り単価表 修復延べ体積 0.1 m3 以下の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB437110</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>n1</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>n1</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>n1</td><td>〃</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>日</td><td>n1</td><td>表3.1, 表4.1 機械賃料</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式4.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) n1：1 トンネル当り施工歩掛 (2) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む） 1 トンネル当り単価表 修復延べ体積 0.1 m3 を超える場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB437110</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$V \div 0.1 \times n2$</td><td>表4.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>$V \div 0.1 \times n2$</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>$V \div 0.1 \times n2$</td><td>〃</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>日</td><td>$V \div 0.1 \times n2$</td><td>表3.1, 表4.2 機械賃料</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式4.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. V ： 1 トンネル当り修復延べ体積 (m3) 2. n2：0.1 m3 当りの施工歩掛 (3) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 1 トンネル当り単価表 修復延べ体積 0.1 m3 以下の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB437110</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>n3</td><td>表4.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>n3</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>n3</td><td>〃</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>日</td><td>n3</td><td>表3.1, 表4.3 機械賃料</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式4.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) n3：1 トンネル当り施工歩掛				施工歩掛コード		WB437110		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	n1	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	n1	〃	普 通 作 業 員		〃	n1	〃	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	日	n1	表3.1, 表4.1 機械賃料	断 面 修 復 材		m3		式4.1	諸 雑 費		式	1	表4.6	計					施工歩掛コード		WB437110		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$V \div 0.1 \times n2$	表4.2	特 殊 作 業 員		〃	$V \div 0.1 \times n2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$V \div 0.1 \times n2$	〃	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	日	$V \div 0.1 \times n2$	表3.1, 表4.2 機械賃料	断 面 修 復 材		m3		式4.1	諸 雑 費		式	1	表4.6	計					施工歩掛コード		WB437110		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	n3	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	n3	〃	普 通 作 業 員		〃	n3	〃	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	日	n3	表3.1, 表4.3 機械賃料	断 面 修 復 材		m3		式4.1	諸 雑 費		式	1	表4.6	計					
施工歩掛コード		WB437110																																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	n1	表4.1																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	n1	〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	n1	〃																																																																																																																																						
高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	日	n1	表3.1, 表4.1 機械賃料																																																																																																																																						
断 面 修 復 材		m3		式4.1																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表4.6																																																																																																																																						
計																																																																																																																																										
施工歩掛コード		WB437110																																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	$V \div 0.1 \times n2$	表4.2																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	$V \div 0.1 \times n2$	〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	$V \div 0.1 \times n2$	〃																																																																																																																																						
高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	日	$V \div 0.1 \times n2$	表3.1, 表4.2 機械賃料																																																																																																																																						
断 面 修 復 材		m3		式4.1																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表4.6																																																																																																																																						
計																																																																																																																																										
施工歩掛コード		WB437110																																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	n3	表4.3																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	n3	〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	n3	〃																																																																																																																																						
高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	日	n3	表3.1, 表4.3 機械賃料																																																																																																																																						
断 面 修 復 材		m3		式4.1																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表4.6																																																																																																																																						
計																																																																																																																																										
積算上の注意事項						(控え頁) 4／6																																																																																																																																				

工 種	トンネル補修工(断面修復工(左官工法))
-----	----------------------

改 正 理 由	新規	改 正 現 行																																																													
現 行	改 正		備 考																																																												
現行無し	(4) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 1 トンネル当り単価表 修復延べ体積 0.1 m3 を超える場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB437110</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$V \div 0.1 \times n4$</td><td>表4.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>$V \div 0.1 \times n4$</td><td>#</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>$V \div 0.1 \times n4$</td><td>#</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>日</td><td>$V \div 0.1 \times n4$</td><td>表3.1, 表4.4 機械賃料</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式4.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">(注) 1. V : 1 トンネル当り修復延べ体積 (m3) 2. n4 : 0.1 m3 当りの施工歩掛</td></tr> (5) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td colspan="2">指定事項</td></tr><tr><td>高所作業車</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>機－29</td><td colspan="2">運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 18 機械賃料数量→ 1.41</td></tr></table></table>		施工歩掛コード		WB437110			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$V \div 0.1 \times n4$	表4.4	特 殊 作 業 員		#	$V \div 0.1 \times n4$	#	普 通 作 業 員		#	$V \div 0.1 \times n4$	#	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日	$V \div 0.1 \times n4$	表3.1, 表4.4 機械賃料	断 面 修 復 材		m3		式4.1	諸 雑 費		式	1	表4.6	計					(注) 1. V : 1 トンネル当り修復延べ体積 (m3) 2. n4 : 0.1 m3 当りの施工歩掛					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項		高所作業車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	機－29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 18 機械賃料数量→ 1.41		
	施工歩掛コード		WB437110																																																												
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																										
	土 木 一 般 世 話 役		人	$V \div 0.1 \times n4$	表4.4																																																										
	特 殊 作 業 員		#	$V \div 0.1 \times n4$	#																																																										
	普 通 作 業 員		#	$V \div 0.1 \times n4$	#																																																										
	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日	$V \div 0.1 \times n4$	表3.1, 表4.4 機械賃料																																																										
	断 面 修 復 材		m3		式4.1																																																										
	諸 雑 費		式	1	表4.6																																																										
	計																																																														
(注) 1. V : 1 トンネル当り修復延べ体積 (m3) 2. n4 : 0.1 m3 当りの施工歩掛																																																															
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																												
高所作業車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	機－29	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 18 機械賃料数量→ 1.41																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 5／6																																																												

工 種	トンネル補修工(断面修復工(左官工法))
-----	----------------------

改 正 理 由	新規	改 正																			
	現 行	改 正	備 考																		
	現 行 無 し	【参考】1トンネルについて 道路トンネルとシェッド等が連続している場合は、1トンネルと考える。  6. 施工単価入力基準表 (1) トンネル補修工（断面修復工（左官工法）） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB437110</td><td>施工単位</td><td>トンネル</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無</td><td>1 トンネル当り 修復延べ体積区分</td><td>1 トンネル当り 修復延べ体積</td></tr><tr><td>①有り ②無し</td><td>①0.1m3以下 ②0.1m3を超える</td><td>(m3) (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 3 条件は1トンネル当りの延べ施工量 (m3／トンネル) を入力する。 2. 本コードは、ロス率を含む。 3. 断面修復材単価(Y-1627001) [円／m3] を単価登録すること。 4. 1 トンネルで鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む作業と含まない作業が混在する場合、別途考慮する。	施工歩掛コード	WB437110	施工単位	トンネル	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無	1 トンネル当り 修復延べ体積区分	1 トンネル当り 修復延べ体積	①有り ②無し	①0.1m3以下 ②0.1m3を超える	(m3) (実数入力)	
施工歩掛コード	WB437110	施工単位	トンネル																		
施 工 区 分	入 力 条 件																				
各 種	J 1	J 2	J 3																		
	鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無	1 トンネル当り 修復延べ体積区分	1 トンネル当り 修復延べ体積																		
	①有り ②無し	①0.1m3以下 ②0.1m3を超える	(m3) (実数入力)																		
積算上の注意事項			(控え頁) 6／6																		

工 種	トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工))
-----	------------------------------

改 正 理 由	新規	改 正	
	現 行	現 行	
	現行無し	②0ー3 トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工)) 1. 適 用 範 囲 本資料は、高所作業車を用いた、トンネル剥落防止対策を目的とする1トンネル当りの可視繊維シート（接着後に目視点検が可能な透明性の高い繊維シート）の接着作業に適用する。 また、シェッド及び大型カルバート等についても適用することができる。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・可視繊維シート以外のシート接着工の場合 ・1トンネル当たりの対象面積が100m2 以上の場合 (注) 1トンネルとは、1道路トンネルの全体を指し、断面の形状や延長による区分は設けない。また、トンネルとシェッド等が連続している場合は、1トンネルと考える。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機 材 搬 入 ↓ 下 地 処 理 ↓ プ ラ イ マ ー 塗 布 (必要に応じて計上) ↓ 不 陸 修 正 (必要に応じて計上) ↓ シ ー ト 接 着 (含 浸 接 着 剤 下 塗 り ・ 上 塗 り 含 む) ↓ 仕 上 げ 塗 装 (必要に応じて計上) ↓ 機 材 撤 去 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 含浸接着剤（下塗り）がプライマーを兼ねる場合は、「プライマー塗布」を省略すること。 3. 含浸接着剤（上塗り）が仕上げ塗装材を兼ねる場合は、「仕上げ塗装」を省略すること。 4. 本歩掛には、トンネル内の高所作業車による移動を含んでいる。 図2ー1 施工フロー	備 考
積算上の注意事項			(控え頁) 1／7

工 種	トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工))
-----	------------------------------

改 正 理 由	新規	改 正																																					
	現 行	現 行																																					
現 行 無 し	3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="5">表3. 1 機 種 の 選 定</th></tr><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>高 所 作 業 車</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 高所作業車は、賃料とする。	表3. 1 機 種 の 選 定					機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	台	1		4. 施 工 歩 掛 4-1 下地処理 下地処理の歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表4. 1 下地処理</th><th>(10m2 当り)</th></tr><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.23</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>0.37</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0.30</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転 日</td><td>日</td><td>0.23</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>30</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 諸雑費は、ディスクサンダ、替え刃、及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。	表4. 1 下地処理		(10m2 当り)	名 称	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役	人	0.23	特 殊 作 業 員	人	0.37	普 通 作 業 員	人	0.30	高 所 作 業 車 運 転 日	日	0.23	諸 雑 費 率	%	30	
表3. 1 機 種 の 選 定																																							
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																			
高 所 作 業 車	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高 9.9m・最大積載荷重 1,000kg	台	1																																				
表4. 1 下地処理		(10m2 当り)																																					
名 称	単 位	数 量																																					
土 木 一 般 世 話 役	人	0.23																																					
特 殊 作 業 員	人	0.37																																					
普 通 作 業 員	人	0.30																																					
高 所 作 業 車 運 転 日	日	0.23																																					
諸 雑 費 率	%	30																																					
	4-2 プライマー塗布 プライマー塗布の歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表4. 2 プライマー塗布</th><th>(10m2 当り)</th></tr><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.18</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>0.29</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0.23</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転 日</td><td>日</td><td>0.18</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.9</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 諸雑費は、ローラー刷毛等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。	表4. 2 プライマー塗布		(10m2 当り)	名 称	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役	人	0.18	特 殊 作 業 員	人	0.29	普 通 作 業 員	人	0.23	高 所 作 業 車 運 転 日	日	0.18	諸 雑 費 率	%	0.9																	
表4. 2 プライマー塗布		(10m2 当り)																																					
名 称	単 位	数 量																																					
土 木 一 般 世 話 役	人	0.18																																					
特 殊 作 業 員	人	0.29																																					
普 通 作 業 員	人	0.23																																					
高 所 作 業 車 運 転 日	日	0.18																																					
諸 雑 費 率	%	0.9																																					
	4-3 不陸修正 不陸修正の歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表4. 3 不陸修正</th><th>(10m2 当り)</th></tr><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.26</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>0.41</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0.33</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転 日</td><td>日</td><td>0.26</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>7</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 諸雑費は、金コテ、ハンドミキサ、及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。	表4. 3 不陸修正		(10m2 当り)	名 称	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役	人	0.26	特 殊 作 業 員	人	0.41	普 通 作 業 員	人	0.33	高 所 作 業 車 運 転 日	日	0.26	諸 雑 費 率	%	7																	
表4. 3 不陸修正		(10m2 当り)																																					
名 称	単 位	数 量																																					
土 木 一 般 世 話 役	人	0.26																																					
特 殊 作 業 員	人	0.41																																					
普 通 作 業 員	人	0.33																																					
高 所 作 業 車 運 転 日	日	0.26																																					
諸 雑 費 率	%	7																																					
積算上の注意事項		(控え頁) 2／7																																					

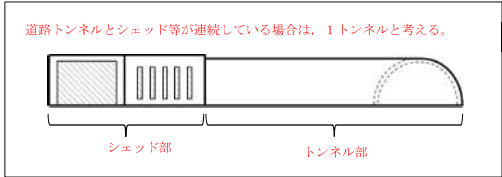
工 種	トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工))
-----	------------------------------

改 正 理 由		新 規		改 正		現 行			
現 行				改 正				備 考	
現行無し				4ー4 シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む） シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）の歩掛は、次表を標準とする。					
				表4. 4 シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）（10m2 当り）					
				名 称		単位	数量		
				土 木 一 般 世 話 役 人		人	0.57		
				特 殊 作 業 員		人	0.90		
				普 通 作 業 員		人	0.73		
				高 所 作 業 車 運 転 日		日	0.57		
				諸 雑 費 率		%	0.4		
				(注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 諸雑費は、ローラー刷毛、ゴムベラ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。					
				4ー5 仕上げ塗装 仕上げ塗装の歩掛は、次表を標準とする。					
表4. 5 仕上げ塗装（10m2 当り）									
名 称		単位	数量						
土 木 一 般 世 話 役 人		人	0.21 0.18						
特 殊 作 業 員		人	0.29 0.29						
普 通 作 業 員		人	0.19 0.23						
高 所 作 業 車 運 転 日		日	0.21 0.18						
諸 雑 費 率		%	0.9						
(注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 諸雑費は、ローラー刷毛等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。									
4ー6 材料の使用数量 (1) 可視繊維シート 可視繊維シートの使用数量は、次式による。 使用数量 (m2)＝設計数量 (m2) × (1 + K1) ……式4. 1 K1：ロス率									
表4. 6 ロス率(K1)									
ロ ス 率		+0.13							
(2) プライマー・含浸接着剤（下塗り・上塗り）・仕上げ塗装材 プライマー・含浸接着剤（下塗り・上塗り）・仕上げ塗装材の使用数量は、次式による。 使用数量 (kg または L)＝設計数量 (kg または L) × (1 + K2) ……式4. 2 K2：ロス率									
表4. 7 ロス率(K2)									
ロ ス 率		+0.17							
積算上の注意事項								(控え頁) 3／7	

工 種	トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工))
-----	------------------------------

改 正 理 由		新規		改 正		現 行																																										
現 行				改 正				備 考																																								
現行無し				5. 単価表																																												
				(1) 下地処理 10m2 当り単価表																																												
				<table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB437210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>日</td><td></td><td>表3.1, 表4.1 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				施工歩掛コード		WB437210		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計						
				施工歩掛コード		WB437210																																										
				名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																								
				土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1																																								
				特 殊 作 業 員		〃		〃																																								
				普 通 作 業 員		〃		〃																																								
				高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.1 機械賃料																																								
				諸 雑 費		式	1	表4.1																																								
計																																																
(2) プライマー塗布 10m2 当り単価表																																																
<table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB437220</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>日</td><td></td><td>表3.1, 表4.2 機械賃料</td></tr><tr><td>プ ラ イ マ ー</td><td></td><td>kgまたはL</td><td></td><td>式4.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.2</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				施工歩掛コード		WB437220		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.2 機械賃料	プ ラ イ マ ー		kgまたはL		式4.2	諸 雑 費		式	1	表4.2	計					
施工歩掛コード		WB437220																																														
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																												
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.2																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																												
高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.2 機械賃料																																												
プ ラ イ マ ー		kgまたはL		式4.2																																												
諸 雑 費		式	1	表4.2																																												
計																																																
(3) 不陸修正 10m2 当り単価表																																																
<table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB437230</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>高 所 作 業 車 運 転</td><td>〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg</td><td>日</td><td></td><td>表3.1, 表4.3 機械賃料</td></tr><tr><td>不 陸 修 正 材</td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要数量計上 (注)</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.3</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				施工歩掛コード		WB437230		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.3 機械賃料	不 陸 修 正 材		kg		必要数量計上 (注)	諸 雑 費		式	1	表4.3	計					
施工歩掛コード		WB437230																																														
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																												
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.3																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																												
高 所 作 業 車 運 転	〔トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型〕最大地上高9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.3 機械賃料																																												
不 陸 修 正 材		kg		必要数量計上 (注)																																												
諸 雑 費		式	1	表4.3																																												
計																																																
(注) 必要数量とは、材料ロス分を含む。																																																
積算上の注意事項				(控え頁)																																												
				4 / 7																																												

工 種	トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工))
-----	------------------------------

改 正 理 由		新 規		改 正		現 行			
現 行				改 正				備 考	
現行無し				(4) シート接着（含浸接着剤下塗り・上塗り含む）10㎡ 当り単価表					
				施工歩掛コード		WB437240			
				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	
				土 木 一 般 世 話 役		人		表4.4	
				特 殊 作 業 員		人		〃	
				普 通 作 業 員		人		〃	
				高 所 作 業 車 運 転	【トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型】 最大地上高 9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.4 機械賃料	
				可 視 繊 維 シ ー ト		㎡		式4.1	
				含 浸 接 着 剤		kgまたはL		式4.2	
				諸 雑 費		式	1	表4.4	
計									
				(5) 仕上げ塗装 10㎡ 当り単価表					
				施工歩掛コード		WB437250			
				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	
				土 木 一 般 世 話 役		人		表4.5	
				特 殊 作 業 員		人		〃	
				普 通 作 業 員		人		〃	
				高 所 作 業 車 運 転	【トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型】 最大地上高 9.9m・最大積載荷重1,000kg	日		表3.1, 表4.5 機械賃料	
				仕 上 げ 塗 装 材		kgまたはL		式4.2	
				諸 雑 費		式	1	表4.5	
				計					
				(6) 機械運転単価表					
				名 称	規 格	適用単価表		摘 要	
				高 所 作 業 車	【トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型】 最大地上高 9.9m・最大積載荷重1,000kg	機—29		運転労務数量→1.00 燃料消費量→22 機械賃料数量→1.48	
				【参考】 1 トンネルについて					
				道路トンネルとシェッド等が連続している場合は、 1 トンネルと考える。					
									
積算上の注意事項		(控え頁) 5／7							

工 種	トンネル補修工(剥落防止対策工(可視繊維シート接着工))
-----	------------------------------

改 正 理 由	新規	改 正 現 行																																				
現 行	改 正	備 考																																				
現行無し	(4) シート接着 (含浸接着剤下塗り・上塗り含む) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB437240</td><td>施工単位</td><td>m2</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入力条件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td></td></tr><tr><td>含浸接着剤計上方法</td><td>1 m2 当りの 含浸接着剤設計量</td><td></td></tr><tr><td>①kg 当り ②L 当り</td><td>(○／m2) (実数入力)</td><td></td></tr></table> (注) 1. 下塗り，上塗りがある場合は合計設計量を入力すること。 2. 本コードは含浸接着剤の材料ロスを含んでいるため，ロス率を含まない数量を入力すること。 3. J 1 条件で①を選択した場合は，含浸接着剤単価 (Y-1629001) [円／kg]，②を選択した場合は，含浸接着剤単価 (Y-1629002) [円／L] を単価登録すること。 4. 可視繊維シート単価 (Y-1631001) [円／m2] を単価登録すること。 (5) 仕上げ塗装 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB437250</td><td>施工単位</td><td>m2</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入力条件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td></td></tr><tr><td>仕上げ塗装材計上方法</td><td>1 m2 当りの 仕上げ塗装材設計量</td><td></td></tr><tr><td>①kg 当り ②L 当り</td><td>(○／m2) (実数入力)</td><td></td></tr></table> (注) 1. 本コードは仕上げ塗装材の材料ロスを含んでいるため，ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1 条件で①を選択した場合は，仕上げ塗装材単価 (Y-1632001) [円／kg]，②を選択した場合は，仕上げ塗装材単価 (Y-1632002) [円／L] を単価登録すること。	施工歩掛コード	WB437240	施工単位	m2	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2		含浸接着剤計上方法	1 m2 当りの 含浸接着剤設計量		①kg 当り ②L 当り	(○／m2) (実数入力)		施工歩掛コード	WB437250	施工単位	m2	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2		仕上げ塗装材計上方法	1 m2 当りの 仕上げ塗装材設計量		①kg 当り ②L 当り	(○／m2) (実数入力)		
	施工歩掛コード	WB437240	施工単位	m2																																		
施工区分	入力条件																																					
各 種	J 1	J 2																																				
	含浸接着剤計上方法	1 m2 当りの 含浸接着剤設計量																																				
	①kg 当り ②L 当り	(○／m2) (実数入力)																																				
施工歩掛コード	WB437250	施工単位	m2																																			
施工区分	入力条件																																					
各 種	J 1	J 2																																				
	仕上げ塗装材計上方法	1 m2 当りの 仕上げ塗装材設計量																																				
	①kg 当り ②L 当り	(○／m2) (実数入力)																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 7／7																																			

工 種	舗装版削孔工(アスファルト舗装版)
-----	-------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																									
現	行	改 正	備 考																																																																								
㊦ 舗装版削孔工(アスファルト舗装版) 1. 適 用 範 囲 本資料は、アスファルト舗装版の削孔（ガードレールの支柱建込用の孔あけ等）において、削孔径 60 mmを超え 200 mm以下、削孔深 400 mm以下 の場合に適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 機材搬入 機械設置 削孔作業 機械撤去 機材搬出 現場内移動 (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。 図 2-1 施工フロー 3. 機 種 の 選 定 機械・規格は次表を標準とする。 <table><caption>表3. 1 機種の選定</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>コンクリート穿孔機</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm</td><td>台</td><td>1</td></tr></table> 4. 施 工 歩 掛 (1) 施工歩掛は次表を標準とする。 <table><caption>表4. 1 削孔歩掛 (100 孔当り)</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット</td><td>各種</td><td>個</td><td>2.0</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm</td><td>日</td><td>2.6</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>12</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、チューブ、アダプター、電力に関する経費、集塵機、集水機等の費用であり、 労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上 する。 2. 足場が必要な場合、舗装版削孔時に発生する濁水の運搬及び処理費が必要な場合は、別途 計上する。 IV-3-㊦-1	名 称	規 格	単位	数量	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	台	1	名 称	規 格	単 位	数量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.0	普 通 作 業 員		〃	2.0	ダイヤモンドビット	各種	個	2.0	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	日	2.6	諸 雑 費 率		%	12	現行どおり	3. 機 種 の 選 定 機械・規格は次表を標準とする。 <table><caption>表3. 1 機種の選定</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>コンクリート穿孔機</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ250mm</td><td>台</td><td>1</td></tr></table> 4. 施 工 歩 掛 (1) 施工歩掛は次表を標準とする。 <table><caption>表4. 1 削孔歩掛 (100 孔当り)</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット</td><td>各種</td><td>個</td><td>2.0</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ250mm</td><td>日</td><td>2.6</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>12</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、チューブ、アダプター、電力に関する経費、集塵機、集水機等の費用であり、 労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上 する。 2. 足場が必要な場合、舗装版削孔時に発生する濁水の運搬及び処理費が必要な場合は、別途 計上する。	名 称	規 格	単位	数量	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ250mm	台	1	名 称	規 格	単 位	数量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.0	普 通 作 業 員		〃	2.0	ダイヤモンドビット	各種	個	2.0	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ250mm	日	2.6	諸 雑 費 率		%	12	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
名 称	規 格	単位	数量																																																																								
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	台	1																																																																								
名 称	規 格	単 位	数量																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2.0																																																																								
普 通 作 業 員		〃	2.0																																																																								
ダイヤモンドビット	各種	個	2.0																																																																								
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	日	2.6																																																																								
諸 雑 費 率		%	12																																																																								
名 称	規 格	単位	数量																																																																								
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ250mm	台	1																																																																								
名 称	規 格	単 位	数量																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	2.0																																																																								
普 通 作 業 員		〃	2.0																																																																								
ダイヤモンドビット	各種	個	2.0																																																																								
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ250mm	日	2.6																																																																								
諸 雑 費 率		%	12																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 1／2																																																																								

工 種	舗装版削孔工(アスファルト舗装版)
-----	-------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																					
現 行				改 正		備 考																																																																																																																																			
(2) 適用削孔径及び使用ビット径については次表とする。 <table><tr><th colspan="5">表4. 2 適用削孔径と使用ビット径 (mm)</th></tr><tr><td>削孔径範囲 (mm)</td><td>60 を超え 64 未満</td><td>64 以上 77 未満</td><td>77 以上 90 未満</td><td>90 以上 110 未満</td></tr><tr><td>使用ビット径</td><td>64.7</td><td>77.4</td><td>90.8</td><td>110.0</td></tr><tr><td>削孔径範囲 (mm)</td><td>110 以上 128 未満</td><td>128 以上 160 未満</td><td>160 以上 180 未満</td><td>180 以上 200 以下</td></tr><tr><td>使用ビット径</td><td>128.5</td><td>160.0</td><td>180.0</td><td>204.0</td></tr></table> 5. 単 価 表 (1) アスファルト削孔（コンクリート穿孔機）100 孔当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB435110</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td><td>〃</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機用ビット</td><td>ダイヤモンドビット</td><td>個</td><td>2.0</td><td>〃</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機運転</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm</td><td>日</td><td>2.6</td><td>〃 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指定事項</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm</td><td>機－14</td><td></td></tr></table>				表4. 2 適用削孔径と使用ビット径 (mm)					削孔径範囲 (mm)	60 を超え 64 未満	64 以上 77 未満	77 以上 90 未満	90 以上 110 未満	使用ビット径	64.7	77.4	90.8	110.0	削孔径範囲 (mm)	110 以上 128 未満	128 以上 160 未満	160 以上 180 未満	180 以上 200 以下	使用ビット径	128.5	160.0	180.0	204.0	施工歩掛コード		WB435110			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	2.0	〃	普 通 作 業 員		〃	2.0	〃	コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.0	〃	コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	日	2.6	〃 機械損料	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	機－14		現行どおり 5. 単 価 表 (1) アスファルト削孔（コンクリート穿孔機）100 孔当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB435110</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.0</td><td>〃</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機用ビット</td><td>ダイヤモンドビット</td><td>個</td><td>2.0</td><td>〃</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機運転</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ250mm</td><td>日</td><td>2.6</td><td>〃 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指定事項</td></tr><tr><td>コンクリート穿孔機</td><td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ250mm</td><td>機－14</td><td></td></tr></table>		施工歩掛コード		WB435110			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	2.0	〃	普 通 作 業 員		〃	2.0	〃	コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.0	〃	コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ250mm	日	2.6	〃 機械損料	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ250mm	機－14		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表4. 2 適用削孔径と使用ビット径 (mm)																																																																																																																																									
削孔径範囲 (mm)	60 を超え 64 未満	64 以上 77 未満	77 以上 90 未満	90 以上 110 未満																																																																																																																																					
使用ビット径	64.7	77.4	90.8	110.0																																																																																																																																					
削孔径範囲 (mm)	110 以上 128 未満	128 以上 160 未満	160 以上 180 未満	180 以上 200 以下																																																																																																																																					
使用ビット径	128.5	160.0	180.0	204.0																																																																																																																																					
施工歩掛コード		WB435110																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	表4.1																																																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	2.0	〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	2.0	〃																																																																																																																																					
コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.0	〃																																																																																																																																					
コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	日	2.6	〃 機械損料																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																						
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	機－14																																																																																																																																							
施工歩掛コード		WB435110																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	表4.1																																																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	2.0	〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	2.0	〃																																																																																																																																					
コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.0	〃																																																																																																																																					
コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ250mm	日	2.6	〃 機械損料																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																						
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ250mm	機－14																																																																																																																																							
積算上の注意事項		(控え頁) 2／2																																																																																																																																							

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由		廃止	改 正 現 行		
現 行			改 正	備 考	
①ー1 共同溝工 (1)(構造物単位) 1. 適 用 範 囲 本資料は、土留覆工方式及び土留開放方式による掘削深さ16mまでの標準部の共同溝工に適用する。 ただし、内防水施工による標準部、特殊部・換気口部及び電線共同溝等の歩道に設置する簡易なものには適用しない。 なお、適用は現場打ちボックスカルバートの1層1連及び同一断面1層2連までとする。 また、本項の適用を外れる共同溝工については、「共同溝工 (2)」を適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 土 留 杭 設 置 覆 工 板 設 置 掘 削 工 基 礎 砕 石 工 コンクリート工 (均しコンクリート) 足 場 ・ 支 保 工 鉄 筋 工 型 枠 工 防 水 工 ・ 防 水 層 保 護 工 内 防 伸 縮 継 手 設 置 コ ン ク リ ー ト 工 防 水 工 ・ 防 水 層 保 護 工 外 防 埋 戻 工 覆 工 板 開 閉 工 覆 工 板 撤 去 土 留 杭 撤 去 路 面 復 旧 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 本歩掛で対応していない工種 (掘削工、防水工・防水層保護工、埋戻工、覆工板開閉工) については、「共同溝工 (2)」を適用する。 3. 基礎砕石工 (基礎砕石)、コンクリート工 (均しコンクリート・歩床部コンクリート)、伸縮継手設置 (目地・止水板) は、必要に応じて別途計上する。 図2ー1 施工フロー IV-4-①-1			削除		歩掛の廃止
積算上の注意事項				(控え頁) 1／8	

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3. 施 工 歩 掛 3－1 共同溝工 3－1－1 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表3. 1 機種の選定</th></tr><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th></tr><tr><td>コンクリートポンプ車</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td></tr></table> 3－1－2 コンクリートポンプ車圧送コンクリートの適用 コンクリートポンプ車圧送コンクリートのスランプ値及び粗骨材の最大寸法は、次表の範囲とする。 <table><tr><th colspan="2">表3. 2 コンクリートポンプ車圧送コンクリートの標準範囲</th></tr><tr><th>スランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td>8～12</td><td>40以下</td></tr></table> 3－1－3 共同溝工歩掛 1層1連及び同一断面の1層2連の共同溝工施工歩掛は、次表を標準とする。 内空高：H(m) <table><tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></</td></tr></table>	表3. 1 機種の選定		機 械 名	規 格	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	表3. 2 コンクリートポンプ車圧送コンクリートの標準範囲		スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	8～12	40以下	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											</
表3. 1 機種の選定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機 械 名	規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
表3. 2 コンクリートポンプ車圧送コンクリートの標準範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
8～12	40以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											</													

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由		廃止				改 正																																																																																																																																																																																																																																												
						現 行																																																																																																																																																																																																																																												
現 行						改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																								
表3.3 共同溝工歩掛 (コンクリート10m³当り) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">共同溝工 (1層1連 土被り：1.5<DH≦3.0) 適用歩掛</th></tr><tr><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th></tr><tr><th>2.0≦B<2.5 1.5≦H<2.0</th><th>2.5≦B<3.5 1.5≦H<2.0</th><th>2.0≦B<2.5 2.0≦H<2.5</th><th>2.5≦B<3.5 2.0≦H<2.5</th></tr><tr><td>土木一般役</td><td></td><td>人</td><td>1.9 (1.9)</td><td>1.8 (1.8)</td><td>2.4 (2.1)</td><td>2.3 (2.0)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>n</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>n</td><td>4.5 (4.3)</td><td>4.3 (4.2)</td><td>6.0 (4.7)</td><td>5.7 (4.6)</td></tr><tr><td>型わく工</td><td></td><td>n</td><td>7.2 (6.6)</td><td>6.7 (6.1)</td><td>7.8 (7.1)</td><td>7.4 (6.6)</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>n</td><td>0.3 (0.3)</td><td>0.3 (0.3)</td><td>1.3 (0.3)</td><td>1.2 (0.4)</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td>躯体部</td><td>m³</td><td colspan="4">10.2 (10.2)</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車運転</td><td>トラック製装・ブーム式 圧送能力 90～110m³/h</td><td>h</td><td colspan="4">0.9 (0.9)</td></tr><tr><td>雑工種率</td><td>基礎 砕 石</td><td>%</td><td>5.8 (6.1)</td><td>6.6 (7.0)</td><td>4.2 (5.1)</td><td>4.9 (5.8)</td></tr><tr><td></td><td>均しコンクリート</td><td>n</td><td>5.5 (5.6)</td><td>6.0 (6.1)</td><td>4.0 (4.6)</td><td>4.4 (5.1)</td></tr><tr><td></td><td>歩床部コンクリート</td><td>n</td><td>5.9 (5.9)</td><td>6.6 (6.6)</td><td>4.3 (4.9)</td><td>4.8 (5.5)</td></tr><tr><td></td><td>目地・止水板</td><td>n</td><td>1.5 (1.6)</td><td>1.5 (1.6)</td><td>1.2 (1.4)</td><td>1.1 (1.4)</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td></td><td>n</td><td>7.1 (6.0)</td><td>6.7 (5.5)</td><td>9.9 (6.6)</td><td>9.3 (6.0)</td></tr></table> (コンクリート10m³当り) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">共同溝工(1層2連 土被り：1.5<DH≦3.0) 適用歩掛</th><th colspan="5">共同溝工 (1層2連 土被り：3.0<DH≦5.0) 適用歩掛</th></tr><tr><th>③</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>⑦</th><th>⑧</th></tr><tr><th>2.0≦B<2.5 2.0≦H<2.5</th><th>2.5≦B<3.5 2.0≦H<2.5</th><th>2.0≦B<2.5 2.5≦H<3.0</th><th>2.5≦B<3.5 2.5≦H<3.0</th><th>2.0≦B<2.5 3.0≦H<4.0</th><th>2.5≦B<3.5 3.0≦H<4.0</th></tr><tr><td>土木一般役</td><td></td><td>人</td><td>2.1 (1.9)</td><td>2.1 (1.9)</td><td>1.8 (1.7)</td><td>1.8 (1.6)</td><td>2.0 (1.8)</td><td>2.0 (1.8)</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>n</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.6 (0.6)</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>n</td><td>5.3 (4.5)</td><td>5.1 (4.4)</td><td>4.6 (3.9)</td><td>4.5 (3.8)</td><td>5.0 (4.2)</td><td>4.9 (4.2)</td></tr><tr><td>型わく工</td><td></td><td>n</td><td>7.2 (6.4)</td><td>6.7 (5.8)</td><td>6.0 (5.4)</td><td>5.7 (4.9)</td><td>6.5 (5.7)</td><td>6.2 (5.2)</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>n</td><td>0.9 (0.4)</td><td>0.9 (0.4)</td><td>0.8 (0.3)</td><td>0.8 (0.4)</td><td>0.9 (0.4)</td><td>1.0 (0.5)</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td>躯体部</td><td>m³</td><td colspan="6">10.2 (10.2)</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車運転</td><td>トラック製装・ブーム式 圧送能力 90～110m³/h</td><td>h</td><td colspan="6">0.9 (0.9)</td></tr><tr><td>雑工種率</td><td>基礎 砕 石</td><td>%</td><td>5.1 (5.9)</td><td>5.7 (6.6)</td><td>4.3 (5.0)</td><td>4.9 (5.7)</td><td>3.6 (4.2)</td><td>4.1 (4.9)</td></tr><tr><td></td><td>均しコンクリート</td><td>n</td><td>4.2 (4.7)</td><td>4.8 (5.3)</td><td>3.6 (4.0)</td><td>3.9 (4.4)</td><td>3.1 (3.5)</td><td>3.4 (3.9)</td></tr><tr><td></td><td>歩床部コンクリート</td><td>n</td><td>5.0 (5.5)</td><td>5.3 (5.9)</td><td>4.1 (4.5)</td><td>4.4 (4.9)</td><td>3.5 (3.9)</td><td>3.9 (4.3)</td></tr><tr><td></td><td>目地・止水板</td><td>n</td><td>1.2 (1.4)</td><td>1.2 (1.4)</td><td>1.2 (1.4)</td><td>1.3 (1.5)</td><td>1.1 (1.3)</td><td>1.2 (1.4)</td></tr><tr><td>諸雑費率</td><td></td><td>n</td><td>8.0 (5.9)</td><td>7.2 (5.4)</td><td>7.3 (4.8)</td><td>6.5 (4.4)</td><td>7.4 (5.2)</td><td>6.7 (4.9)</td></tr></table> (注) 1. 上表の労務歩掛は、一般型枠による製作設置・撤去、足場・支保設置・撤去、コンクリート打設・養生等を含むものである。 なお、雑工種は必要に応じて計上する。 2. 上表の共同溝工歩掛は、内防水施工等により、撤去しない埋設型枠にて施工する場合は、適用出来ない。 3. 設計数量は、躯体部本体コンクリートの数量とする。 4. コンクリートのロス率を、2%として上表に含めてある。 5. 雑工種・諸雑費は、労務費とコンクリートポンプ車損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 IV-4-①-3						名 称	規 格	単位	共同溝工 (1層1連 土被り：1.5<DH≦3.0) 適用歩掛				①	②	③	④	2.0≦B<2.5 1.5≦H<2.0	2.5≦B<3.5 1.5≦H<2.0	2.0≦B<2.5 2.0≦H<2.5	2.5≦B<3.5 2.0≦H<2.5	土木一般役		人	1.9 (1.9)	1.8 (1.8)	2.4 (2.1)	2.3 (2.0)	特殊作業員		n	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	普通作業員		n	4.5 (4.3)	4.3 (4.2)	6.0 (4.7)	5.7 (4.6)	型わく工		n	7.2 (6.6)	6.7 (6.1)	7.8 (7.1)	7.4 (6.6)	とび工		n	0.3 (0.3)	0.3 (0.3)	1.3 (0.3)	1.2 (0.4)	コンクリート	躯体部	m³	10.2 (10.2)				コンクリートポンプ車運転	トラック製装・ブーム式 圧送能力 90～110m³/h	h	0.9 (0.9)				雑工種率	基礎 砕 石	%	5.8 (6.1)	6.6 (7.0)	4.2 (5.1)	4.9 (5.8)		均しコンクリート	n	5.5 (5.6)	6.0 (6.1)	4.0 (4.6)	4.4 (5.1)		歩床部コンクリート	n	5.9 (5.9)	6.6 (6.6)	4.3 (4.9)	4.8 (5.5)		目地・止水板	n	1.5 (1.6)	1.5 (1.6)	1.2 (1.4)	1.1 (1.4)	諸雑費率		n	7.1 (6.0)	6.7 (5.5)	9.9 (6.6)	9.3 (6.0)	名 称	規 格	単位	共同溝工(1層2連 土被り：1.5<DH≦3.0) 適用歩掛		共同溝工 (1層2連 土被り：3.0<DH≦5.0) 適用歩掛					③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	2.0≦B<2.5 2.0≦H<2.5	2.5≦B<3.5 2.0≦H<2.5	2.0≦B<2.5 2.5≦H<3.0	2.5≦B<3.5 2.5≦H<3.0	2.0≦B<2.5 3.0≦H<4.0	2.5≦B<3.5 3.0≦H<4.0	土木一般役		人	2.1 (1.9)	2.1 (1.9)	1.8 (1.7)	1.8 (1.6)	2.0 (1.8)	2.0 (1.8)	特殊作業員		n	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	普通作業員		n	5.3 (4.5)	5.1 (4.4)	4.6 (3.9)	4.5 (3.8)	5.0 (4.2)	4.9 (4.2)	型わく工		n	7.2 (6.4)	6.7 (5.8)	6.0 (5.4)	5.7 (4.9)	6.5 (5.7)	6.2 (5.2)	とび工		n	0.9 (0.4)	0.9 (0.4)	0.8 (0.3)	0.8 (0.4)	0.9 (0.4)	1.0 (0.5)	コンクリート	躯体部	m³	10.2 (10.2)						コンクリートポンプ車運転	トラック製装・ブーム式 圧送能力 90～110m³/h	h	0.9 (0.9)						雑工種率	基礎 砕 石	%	5.1 (5.9)	5.7 (6.6)	4.3 (5.0)	4.9 (5.7)	3.6 (4.2)	4.1 (4.9)		均しコンクリート	n	4.2 (4.7)	4.8 (5.3)	3.6 (4.0)	3.9 (4.4)	3.1 (3.5)	3.4 (3.9)		歩床部コンクリート	n	5.0 (5.5)	5.3 (5.9)	4.1 (4.5)	4.4 (4.9)	3.5 (3.9)	3.9 (4.3)		目地・止水板	n	1.2 (1.4)	1.2 (1.4)	1.2 (1.4)	1.3 (1.5)	1.1 (1.3)	1.2 (1.4)	諸雑費率		n	8.0 (5.9)	7.2 (5.4)	7.3 (4.8)	6.5 (4.4)	7.4 (5.2)	6.7 (4.9)	削除						歩掛の廃止	
名 称	規 格	単位	共同溝工 (1層1連 土被り：1.5<DH≦3.0) 適用歩掛																																																																																																																																																																																																																																															
			①	②	③				④																																																																																																																																																																																																																																									
			2.0≦B<2.5 1.5≦H<2.0	2.5≦B<3.5 1.5≦H<2.0	2.0≦B<2.5 2.0≦H<2.5	2.5≦B<3.5 2.0≦H<2.5																																																																																																																																																																																																																																												
土木一般役		人	1.9 (1.9)	1.8 (1.8)	2.4 (2.1)	2.3 (2.0)																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員		n	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員		n	4.5 (4.3)	4.3 (4.2)	6.0 (4.7)	5.7 (4.6)																																																																																																																																																																																																																																												
型わく工		n	7.2 (6.6)	6.7 (6.1)	7.8 (7.1)	7.4 (6.6)																																																																																																																																																																																																																																												
とび工		n	0.3 (0.3)	0.3 (0.3)	1.3 (0.3)	1.2 (0.4)																																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート	躯体部	m³	10.2 (10.2)																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリートポンプ車運転	トラック製装・ブーム式 圧送能力 90～110m³/h	h	0.9 (0.9)																																																																																																																																																																																																																																															
雑工種率	基礎 砕 石	%	5.8 (6.1)	6.6 (7.0)	4.2 (5.1)	4.9 (5.8)																																																																																																																																																																																																																																												
	均しコンクリート	n	5.5 (5.6)	6.0 (6.1)	4.0 (4.6)	4.4 (5.1)																																																																																																																																																																																																																																												
	歩床部コンクリート	n	5.9 (5.9)	6.6 (6.6)	4.3 (4.9)	4.8 (5.5)																																																																																																																																																																																																																																												
	目地・止水板	n	1.5 (1.6)	1.5 (1.6)	1.2 (1.4)	1.1 (1.4)																																																																																																																																																																																																																																												
諸雑費率		n	7.1 (6.0)	6.7 (5.5)	9.9 (6.6)	9.3 (6.0)																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単位	共同溝工(1層2連 土被り：1.5<DH≦3.0) 適用歩掛		共同溝工 (1層2連 土被り：3.0<DH≦5.0) 適用歩掛																																																																																																																																																																																																																																													
			③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																																																																																																																																																										
			2.0≦B<2.5 2.0≦H<2.5	2.5≦B<3.5 2.0≦H<2.5	2.0≦B<2.5 2.5≦H<3.0	2.5≦B<3.5 2.5≦H<3.0	2.0≦B<2.5 3.0≦H<4.0	2.5≦B<3.5 3.0≦H<4.0																																																																																																																																																																																																																																										
土木一般役		人	2.1 (1.9)	2.1 (1.9)	1.8 (1.7)	1.8 (1.6)	2.0 (1.8)	2.0 (1.8)																																																																																																																																																																																																																																										
特殊作業員		n	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)																																																																																																																																																																																																																																										
普通作業員		n	5.3 (4.5)	5.1 (4.4)	4.6 (3.9)	4.5 (3.8)	5.0 (4.2)	4.9 (4.2)																																																																																																																																																																																																																																										
型わく工		n	7.2 (6.4)	6.7 (5.8)	6.0 (5.4)	5.7 (4.9)	6.5 (5.7)	6.2 (5.2)																																																																																																																																																																																																																																										
とび工		n	0.9 (0.4)	0.9 (0.4)	0.8 (0.3)	0.8 (0.4)	0.9 (0.4)	1.0 (0.5)																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート	躯体部	m³	10.2 (10.2)																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリートポンプ車運転	トラック製装・ブーム式 圧送能力 90～110m³/h	h	0.9 (0.9)																																																																																																																																																																																																																																															
雑工種率	基礎 砕 石	%	5.1 (5.9)	5.7 (6.6)	4.3 (5.0)	4.9 (5.7)	3.6 (4.2)	4.1 (4.9)																																																																																																																																																																																																																																										
	均しコンクリート	n	4.2 (4.7)	4.8 (5.3)	3.6 (4.0)	3.9 (4.4)	3.1 (3.5)	3.4 (3.9)																																																																																																																																																																																																																																										
	歩床部コンクリート	n	5.0 (5.5)	5.3 (5.9)	4.1 (4.5)	4.4 (4.9)	3.5 (3.9)	3.9 (4.3)																																																																																																																																																																																																																																										
	目地・止水板	n	1.2 (1.4)	1.2 (1.4)	1.2 (1.4)	1.3 (1.5)	1.1 (1.3)	1.2 (1.4)																																																																																																																																																																																																																																										
諸雑費率		n	8.0 (5.9)	7.2 (5.4)	7.3 (4.8)	6.5 (4.4)	7.4 (5.2)	6.7 (4.9)																																																																																																																																																																																																																																										
積算上の注意事項										(控え頁)																																																																																																																																																																																																																																								
										3／8																																																																																																																																																																																																																																								

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正																																									
		現 行																																									
現 行		改 正		備 考																																							
なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は、次表を標準とする。 6．養生は、散水養生、被膜養生程度のものであり、給熱養生等の特別な養生を必要とする場合は諸雑費率から1.0%減ずるものとし、養生費を「第Ⅱ編第4章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。 7．冬の施工で、雪寒仮囲い等の特別な足場と給熱養生等の特別な養生を必要とする場合は、（ ）書きの数値を使用するものとし、足場費及び養生費については、「第Ⅱ編第5章仮設工③ー2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 8．基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 9．躯体部をコンクリートポンプ車配管打設にて施工する場合で圧送管組立・撤去が必要な場合は、「第Ⅳ編第4章共同溝工④ー2共同溝工（2）」により別途計上する。 なお、コンクリート1日当り打設量は、躯体部87㎡を標準とする。 10．化粧型枠を使用する場合は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②ー1型枠工」により化粧型枠の必要数量分について化粧型枠率分費用を加算する。 11．雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用出来る。 ただし、目地・止水板についてはスリップバー方式を標準としており、スリップバー方式以外の継手構造（カラー方式等）を使用する場合は、別途計上する。なお、特殊目地材の材料費は必要量を別途計上する。 12．可とう性継手、取替式止水板及びグラウト管等を施工する場合は、別途計上する。 13．防水工・防水層保護工を施工する場合は、「第Ⅳ編第4章共同溝工④ー2共同溝工（2）」により別途計上する。 14．本歩掛には、コンクリートポンプ車打設時のホースの筒先作業等を行う機械補助労務を含む。 15．本歩掛には、型枠施工時のはく離剤塗布及びビケレン作業を含む。 16．1層2連の場合の考え方は、次表を標準とする。		削除		歩掛の廃止																																							
表3.4 雑工種及び諸雑費に含まれる内容																																											
<table><tr><td></td><td>労 務 費</td><td>機械運転経費</td><td>雑機械器具損料</td><td>材 料 費</td></tr><tr><td rowspan="4">雑工種</td><td>基礎砕石</td><td>敷設・転圧労務</td><td>材料投入、締固め機械</td><td>—</td></tr><tr><td>均しコンクリート</td><td>打設・養生 型枠製作・設置・撤去労務</td><td>打設用機械、圧送管 電力に関する経費</td><td>コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、バケット等</td></tr><tr><td>歩床部コンクリート</td><td>打設・養生 型枠製作・設置・撤去労務</td><td>打設用機械、圧送管 電力に関する経費</td><td>コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、バケット等</td></tr><tr><td>目地・止水板</td><td>設置労務</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">諸雑費</td><td>コンクリート関係</td><td>—</td><td>電力に関する経費</td><td>コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ等</td></tr><tr><td>型 枠 関 係</td><td>—</td><td>持上げ（下げ）機械、電力に関する経費</td><td>電気ドリル、電気ノコギリ等</td></tr><tr><td>足 場 関 係</td><td>—</td><td>持上げ（下げ）機械</td><td>—</td></tr><tr><td>支 保 関 係</td><td>—</td><td>持上げ（下げ）機械</td><td>—</td></tr></table>			労 務 費	機械運転経費	雑機械器具損料	材 料 費	雑工種	基礎砕石	敷設・転圧労務	材料投入、締固め機械	—	均しコンクリート	打設・養生 型枠製作・設置・撤去労務	打設用機械、圧送管 電力に関する経費	コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、バケット等	歩床部コンクリート	打設・養生 型枠製作・設置・撤去労務	打設用機械、圧送管 電力に関する経費	コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、バケット等	目地・止水板	設置労務	—	—	諸雑費	コンクリート関係	—	電力に関する経費	コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ等	型 枠 関 係	—	持上げ（下げ）機械、電力に関する経費	電気ドリル、電気ノコギリ等	足 場 関 係	—	持上げ（下げ）機械	—	支 保 関 係	—	持上げ（下げ）機械	—			
	労 務 費	機械運転経費	雑機械器具損料	材 料 費																																							
雑工種	基礎砕石	敷設・転圧労務	材料投入、締固め機械	—																																							
	均しコンクリート	打設・養生 型枠製作・設置・撤去労務	打設用機械、圧送管 電力に関する経費	コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、バケット等																																							
	歩床部コンクリート	打設・養生 型枠製作・設置・撤去労務	打設用機械、圧送管 電力に関する経費	コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、バケット等																																							
	目地・止水板	設置労務	—	—																																							
諸雑費	コンクリート関係	—	電力に関する経費	コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ等																																							
	型 枠 関 係	—	持上げ（下げ）機械、電力に関する経費	電気ドリル、電気ノコギリ等																																							
	足 場 関 係	—	持上げ（下げ）機械	—																																							
	支 保 関 係	—	持上げ（下げ）機械	—																																							
表3.5 1層2連の場合																																											
<table><tr><td></td><td>適用する歩掛区分</td></tr><tr><td>同一断面の場合</td><td>1連分のB、Hで決定</td></tr><tr><td>異形断面の場合</td><td>共同溝工(2)により別途計上する</td></tr></table>			適用する歩掛区分	同一断面の場合	1連分のB、Hで決定	異形断面の場合	共同溝工(2)により別途計上する																																				
	適用する歩掛区分																																										
同一断面の場合	1連分のB、Hで決定																																										
異形断面の場合	共同溝工(2)により別途計上する																																										
IV-4-①-4																																											
積算上の注意事項																																											
		(控え頁) 4／8																																									

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止		改 正 現 行			
現 行		改 正		備 考		
3－2 材料使用量 躯体部本体コンクリートの材料の使用量は、次式による。 使用量（m³）＝設計数量（m³）×（1＋K）……式3. 1 K：ロス率 表3. 6 ロス率(K) <table><tr><td>ロ ス 率</td><td>+0.02</td></tr></table> 3－3 鉄筋工 鉄筋工は、「第Ⅵ編第2章市場単価①－1 鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。 IV-4-①-5		ロ ス 率	+0.02	削除		歩掛の廃止
ロ ス 率	+0.02					
積算上の注意事項				(控え頁) 5／8		

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																																																																																						
現 行				改 正		備 考																																																																																																																				
4. 単 価 表 (1) 共同溝工10㎡当り単価表〔共同溝工（1）〕 <table><tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB440550</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>表3.3、式3.1</td></tr><tr><td>コ ン ク リ ー ト ボ ン プ 車 運 転</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h</td><td>h</td><td></td><td>表3.3 機械損料</td></tr><tr><td colspan="2">圧送管組立・撤去費</td><td>㎡</td><td>10</td><td>(2)単価表 必要に応じて計上</td></tr><tr><td colspan="2">特 別 な 養 生 工</td><td>〃</td><td>10</td><td>必要に応じて計上(注)</td></tr><tr><td rowspan="4">雑 工 種</td><td>基 礎 砕 石</td><td>式</td><td>1</td><td>表3.3 必要に応じて計上</td></tr><tr><td>均しコンクリート</td><td>〃</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>歩床部コンクリート</td><td>〃</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>目 地 ・ 止 水 板</td><td>〃</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td colspan="2">諸 雑 費</td><td>〃</td><td>1</td><td>表3.3</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 特別な養生工については、「第Ⅱ編第4章コンクリート工①コンクリート工5－3養生工（特殊養生）」、「第Ⅱ編第5章仮設工③－2雪寒仮囲い工5. 養生工（Pタイプ、Wタイプ、PWタイプ共通）」によるものとする。 (2) 躯体部圧送管組立・撤去費 10㎡当り単価表 <table><tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB440560</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.50×L／B</td><td>表3.3(注)9</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 2. Bは、日当り標準打設量（87㎡）とする。 (3) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指定事項</td></tr><tr><td rowspan="2">コンクリートポンプ車</td><td rowspan="2">トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h</td><td rowspan="2">機－3</td><td>機械損料1→コンクリートポンプ車 （トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h）</td></tr><tr><td>機械損料2→コンクリート圧送管 （径125mm） 単位→m・h 数量→L×1h</td></tr></table> (注) Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 IV-4-①-6						施工歩掛コード	WB440550		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	型 わ く 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		㎡		表3.3、式3.1	コ ン ク リ ー ト ボ ン プ 車 運 転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h	h		表3.3 機械損料	圧送管組立・撤去費		㎡	10	(2)単価表 必要に応じて計上	特 別 な 養 生 工		〃	10	必要に応じて計上(注)	雑 工 種	基 礎 砕 石	式	1	表3.3 必要に応じて計上	均しコンクリート	〃	1	〃	歩床部コンクリート	〃	1	〃	目 地 ・ 止 水 板	〃	1	〃	諸 雑 費		〃	1	表3.3	計							施工歩掛コード	WB440560		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	0.50×L／B	表3.3(注)9	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h	機－3	機械損料1→コンクリートポンプ車 （トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h）	機械損料2→コンクリート圧送管 （径125mm） 単位→m・h 数量→L×1h	削除		歩掛の廃止
		施工歩掛コード	WB440550																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人		表3.3																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
型 わ く 工		〃		〃																																																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																																																						
コ ン ク リ ー ト		㎡		表3.3、式3.1																																																																																																																						
コ ン ク リ ー ト ボ ン プ 車 運 転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h	h		表3.3 機械損料																																																																																																																						
圧送管組立・撤去費		㎡	10	(2)単価表 必要に応じて計上																																																																																																																						
特 別 な 養 生 工		〃	10	必要に応じて計上(注)																																																																																																																						
雑 工 種	基 礎 砕 石	式	1	表3.3 必要に応じて計上																																																																																																																						
	均しコンクリート	〃	1	〃																																																																																																																						
	歩床部コンクリート	〃	1	〃																																																																																																																						
	目 地 ・ 止 水 板	〃	1	〃																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表3.3																																																																																																																						
計																																																																																																																										
		施工歩掛コード	WB440560																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
普 通 作 業 員		人	0.50×L／B	表3.3(注)9																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																							
計																																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h	機－3	機械損料1→コンクリートポンプ車 （トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110㎡／h）																																																																																																																							
			機械損料2→コンクリート圧送管 （径125mm） 単位→m・h 数量→L×1h																																																																																																																							
積算上の注意事項					(控え頁) 6／8																																																																																																																					

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																																																																														
現 行				改 正		備 考																																																																																																												
5. 施工単価入力基準表 (1) 共同溝工 (1) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB440550</td><td>施工単位</td><td>㎡</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td></tr><tr><td>生コンクリート規格 (表 5. 1)</td><td>歩掛区分 (表 5. 2)</td><td>養生工 (表 5. 3)</td><td>特別な養生 (表 5. 4)</td><td>雑工種 基礎砕石の有無 (厚さ 20 cm 以下) ①無 ②有</td><td>雑工種 均しコンクリートの有無 ①無 ②有</td></tr><tr><td>J 7</td><td>J 8</td><td>J 9</td><td>J 10</td><td>J 11</td><td></td></tr><tr><td>雑工種 胴部コンクリートの有無 ①無 ②有</td><td>雑工種 目地・止水板の有無 ①無 ②有</td><td>生コンクリート 夜間閉鎖の有無 ①無 ②有</td><td>圧送管組立・撤去の有無 ①無 ②有</td><td>圧送管延長 (m) (実数入力)</td><td></td></tr></table> (注) 1. 施工量は、圧送管の有無毎に躯体部本体コンクリートの設計量を入力すること。 2. J 1 条件で⑩を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円／㎡] を単価登録すること。 3. J 3 条件で①, ③を選択した場合は、J 4 条件は選択する必要はない。 4. J 3 条件で③を選択した場合は、養生費が「第Ⅱ編第 5 章仮設工⑬ー2 雪寒仮囲い工 WB253240 (仮囲い内ジェットヒータ養生)」により計上される。 なお、足場費を「第Ⅱ編第 5 章仮設工⑬ー2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。 5. J 4 条件で①～②を選択した場合は、第Ⅱ編第 4 章コンクリート工①コンクリート工 WB240050 (養生工) が計上される。 6. J 9 条件で②を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y-0213000) [円／㎡] を単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 7. J 10 条件で①を選択した場合は、J 11 条件は入力する必要はない。 8. J 10 条件は、コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超える場合に②を選択し、J 11 条件において、超える部分の圧送管延長を実数入力すること。なお、圧送管延長は、標準目打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 9. 圧送管組立・撤去は日々組立撤去に適用する。 10. 特殊目地材の設置労務を含む。但し、材料費は WB440360 で別途計上する。 表 5. 1 生コンクリート規格 <table><tr><th>規 格</th><th>番号</th><th>規 格</th><th>番号</th><th>規 格</th><th>番号</th></tr><tr><td>21－8－25 (20) (普通)</td><td>①</td><td>21－8－25 (20) (高炉)</td><td>⑤</td><td>21－8－25 (早強)</td><td>⑨</td></tr><tr><td>24－8－25 (20) (普通)</td><td>②</td><td>24－8－25 (20) (高炉)</td><td>⑥</td><td>24－8－25 (早強)</td><td>⑩</td></tr><tr><td>21－8－40 (普通)</td><td>③</td><td>21－8－40 (高炉)</td><td>⑦</td><td>Y-0210000 (各種)</td><td>⑪</td></tr><tr><td>24－8－40 (普通)</td><td>④</td><td>24－8－40 (高炉)</td><td>⑧</td><td></td><td></td></tr></table> 表 5. 2 歩掛区分 <table><tr><th rowspan="3">歩掛区分</th><th colspan="4">1 層 1 連 土被り : 1.5<DH≤3.0</th><th colspan="2">1 層 2 連 土被り : 1.5<DH≤3.0</th><th colspan="4">1 層 2 連 土被り : 3.0<DH≤5.0</th></tr><tr><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th>③</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>⑦</th><th>⑧</th></tr><tr><td>2.0≤B<2.5 1.5≤H<2.0</td><td>2.5≤B<3.5 1.5≤H<2.0</td><td>2.0≤B<2.5 2.0≤H<2.5</td><td>2.5≤B<3.5 2.0≤H<2.5</td><td>2.0≤B<2.5 2.0≤H<2.5</td><td>2.5≤B<3.5 2.0≤H<2.5</td><td>2.0≤B<2.5 2.5≤H<3.0</td><td>2.5≤B<3.5 2.5≤H<3.0</td><td>2.0≤B<2.5 3.0≤H<4.0</td><td>2.5≤B<3.5 3.0≤H<4.0</td></tr><tr><th>番 号</th><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>⑦</th><th>⑧</th><th>⑨</th><th>⑩</th></tr></table> IV-4-①-7				施工歩掛コード	WB440550	施工単位	㎡	施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	生コンクリート規格 (表 5. 1)	歩掛区分 (表 5. 2)	養生工 (表 5. 3)	特別な養生 (表 5. 4)	雑工種 基礎砕石の有無 (厚さ 20 cm 以下) ①無 ②有	雑工種 均しコンクリートの有無 ①無 ②有	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11		雑工種 胴部コンクリートの有無 ①無 ②有	雑工種 目地・止水板の有無 ①無 ②有	生コンクリート 夜間閉鎖の有無 ①無 ②有	圧送管組立・撤去の有無 ①無 ②有	圧送管延長 (m) (実数入力)		規 格	番号	規 格	番号	規 格	番号	21－8－25 (20) (普通)	①	21－8－25 (20) (高炉)	⑤	21－8－25 (早強)	⑨	24－8－25 (20) (普通)	②	24－8－25 (20) (高炉)	⑥	24－8－25 (早強)	⑩	21－8－40 (普通)	③	21－8－40 (高炉)	⑦	Y-0210000 (各種)	⑪	24－8－40 (普通)	④	24－8－40 (高炉)	⑧			歩掛区分	1 層 1 連 土被り : 1.5<DH≤3.0				1 層 2 連 土被り : 1.5<DH≤3.0		1 層 2 連 土被り : 3.0<DH≤5.0				①	②	③	④	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	2.0≤B<2.5 1.5≤H<2.0	2.5≤B<3.5 1.5≤H<2.0	2.0≤B<2.5 2.0≤H<2.5	2.5≤B<3.5 2.0≤H<2.5	2.0≤B<2.5 2.0≤H<2.5	2.5≤B<3.5 2.0≤H<2.5	2.0≤B<2.5 2.5≤H<3.0	2.5≤B<3.5 2.5≤H<3.0	2.0≤B<2.5 3.0≤H<4.0	2.5≤B<3.5 3.0≤H<4.0	番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	削除		歩掛の廃止
施工歩掛コード	WB440550	施工単位	㎡																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																	
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																												
	生コンクリート規格 (表 5. 1)	歩掛区分 (表 5. 2)	養生工 (表 5. 3)	特別な養生 (表 5. 4)	雑工種 基礎砕石の有無 (厚さ 20 cm 以下) ①無 ②有	雑工種 均しコンクリートの有無 ①無 ②有																																																																																																												
	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11																																																																																																													
	雑工種 胴部コンクリートの有無 ①無 ②有	雑工種 目地・止水板の有無 ①無 ②有	生コンクリート 夜間閉鎖の有無 ①無 ②有	圧送管組立・撤去の有無 ①無 ②有	圧送管延長 (m) (実数入力)																																																																																																													
規 格	番号	規 格	番号	規 格	番号																																																																																																													
21－8－25 (20) (普通)	①	21－8－25 (20) (高炉)	⑤	21－8－25 (早強)	⑨																																																																																																													
24－8－25 (20) (普通)	②	24－8－25 (20) (高炉)	⑥	24－8－25 (早強)	⑩																																																																																																													
21－8－40 (普通)	③	21－8－40 (高炉)	⑦	Y-0210000 (各種)	⑪																																																																																																													
24－8－40 (普通)	④	24－8－40 (高炉)	⑧																																																																																																															
歩掛区分	1 層 1 連 土被り : 1.5<DH≤3.0				1 層 2 連 土被り : 1.5<DH≤3.0		1 層 2 連 土被り : 3.0<DH≤5.0																																																																																																											
	①	②	③	④	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																								
	2.0≤B<2.5 1.5≤H<2.0	2.5≤B<3.5 1.5≤H<2.0	2.0≤B<2.5 2.0≤H<2.5	2.5≤B<3.5 2.0≤H<2.5	2.0≤B<2.5 2.0≤H<2.5	2.5≤B<3.5 2.0≤H<2.5	2.0≤B<2.5 2.5≤H<3.0	2.5≤B<3.5 2.5≤H<3.0	2.0≤B<2.5 3.0≤H<4.0	2.5≤B<3.5 3.0≤H<4.0																																																																																																								
番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩																																																																																																								
積算上の注意事項						(控え頁) 7／8																																																																																																												

工 種	共同溝工(1)(構造物単位)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																
現 行		改 正	備 考															
表5.3 養生工 <table><tr><th>養 生 工</th><th>番号</th></tr><tr><td>一般養生</td><td>①</td></tr><tr><td>給熱養生等の特別な養生を必要とする場合</td><td>②</td></tr><tr><td>冬期の施工で、雪寒仮囲い等の特別な足場と給熱養生等の特別な養生を必要とする場合</td><td>③</td></tr></table> 表5.4 特別な養生工の種別 <table><tr><th>種 別</th><th>番号</th></tr><tr><td>特殊養生（練炭）</td><td>①</td></tr><tr><td>特殊養生（ジェットヒータ）</td><td>②</td></tr></table> IV-4-①-8		養 生 工	番号	一般養生	①	給熱養生等の特別な養生を必要とする場合	②	冬期の施工で、雪寒仮囲い等の特別な足場と給熱養生等の特別な養生を必要とする場合	③	種 別	番号	特殊養生（練炭）	①	特殊養生（ジェットヒータ）	②	削除		歩掛の廃止
養 生 工	番号																	
一般養生	①																	
給熱養生等の特別な養生を必要とする場合	②																	
冬期の施工で、雪寒仮囲い等の特別な足場と給熱養生等の特別な養生を必要とする場合	③																	
種 別	番号																	
特殊養生（練炭）	①																	
特殊養生（ジェットヒータ）	②																	
積算上の注意事項			(控え頁) 8／8															

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行		
現 行		改 正	備 考	
①ー2 共同溝工 (2) 1. 適 用 範 囲 本資料は、共同溝工(1)の適用範囲を外れた土留覆工方式及び土留開放方式による掘削深さ16mまでの共同溝工に適用する。 ただし、電線共同溝等の歩道に設置する簡易なものには適用しない。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 土 留 杭 設 置 覆 工 板 設 置 掘 削 工 基 礎 砕 石 工 コンクリート工 (均しコンクリート) 足 場 ・ 支 保 工 鉄 筋 工 型 枠 工 防 水 工 ・ 防 水 層 保 護 工 内 防 伸 縮 継 手 設 置 コ ン ク リ ー ト 工 防 水 工 ・ 防 水 層 保 護 工 外 防 埋 戻 工 覆 工 板 開 閉 工 覆 工 板 撤 去 土 留 杭 撤 去 路 面 復 旧 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 基礎砕石工 (基礎砕石), コンクリート工 (均しコンクリート・歩床部コンクリート), 伸縮継手設置 (目地・止水板) は、必要に応じて計上する。 図2ー1・施工フロー IV-4-①-9		削除		歩掛の廃止
積算上の注意事項			(控え頁) 1／30	

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																																																																																									
現 行				改 正		備 考																																																																																																																							
3. 掘 削 工 3－1 掘削工 掘削工の施工歩掛は、次表を標準とする。ただし、コンクリート及びアスファルト舗装版の破碎等、砂、砂質土、レキ質土及び粘性土以外の掘削は、別途考慮する。 表3. 1 掘削工施工歩掛 (100m³当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">土 留 方 式</th></tr><tr><th>土 留 覆 工</th><th>土 留 開 放</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.69</td><td>1.55</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td><td>日</td><td>0.28</td><td>0.20</td></tr><tr><td>クラムシェル運転</td><td>油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m³</td><td>〃</td><td>0.53</td><td>0.39</td></tr><tr><td>小型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td><td>標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.08m³ (平積0.06m³)</td><td>〃</td><td>0.64</td><td>0.47</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>0.2</td><td>0.3</td></tr></table> (注) 1. 普通作業員は、基面整正 (床付面の整正作業)、土平落し、地下埋設部箇所の掘削補助及び湧水を導くため素掘水路を掘削する程度の小規模な湧水処理を行う。 なお、排水処理が必要な場合は、別途計上する。 2. 土留覆工方式とは、切梁上部に覆工板を設置する仮設構造をいい、土留開放方式とは、切梁上部に覆工板を設置しない仮設構造をいう。 3. 諸雑費は小型バックホウの坑内への搬入搬出に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3－2 運搬工 積込機種及び運搬車種別のダンプトラック運搬日数は、次表を標準とする。 表3. 2 ダンプトラック運搬日数 (100m³当り) <table><tr><th rowspan="2">積 込 機 種</th><th colspan="10">バックホウ (クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8m³(平積0.6m³) 又は クラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m³</th></tr><tr><th colspan="10">ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級</th></tr><tr><td colspan="11">DID区間：無し</td></tr><tr><td>運 搬 距 離 (km)</td><td>1.5 以下</td><td>2.5 以下</td><td>4.5 以下</td><td>5.5 以下</td><td>7.0 以下</td><td>12.5 以下</td><td>18.5 以下</td><td>34.0 以下</td><td>60.0 以下</td><td></td></tr><tr><td>運 搬 日 数 (日)</td><td>1.5</td><td>1.7</td><td>2.1</td><td>2.4</td><td>2.6</td><td>3.2</td><td>3.8</td><td>4.7</td><td>6.3</td><td>9.5</td></tr><tr><td colspan="11">DID区間：有り</td></tr><tr><td>運 搬 距 離 (km)</td><td>1.5 以下</td><td>2.5 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.0 以下</td><td>6.5 以下</td><td>8.5 以下</td><td>11.5 以下</td><td>16.5 以下</td><td>26.5 以下</td><td>60.0 以下</td></tr><tr><td>運 搬 日 数 (日)</td><td>1.5</td><td>1.7</td><td>2.1</td><td>2.4</td><td>2.7</td><td>3.2</td><td>3.8</td><td>4.7</td><td>6.3</td><td>9.5</td></tr></table> (注) 1. 上表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 4. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 IV-4-①-10				名 称	規 格	単位	土 留 方 式		土 留 覆 工	土 留 開 放	普 通 作 業 員		人	2.69	1.55	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.28	0.20	クラムシェル運転	油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m ³	〃	0.53	0.39	小型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	〃	0.64	0.47	諸 雑 費 率		%	0.2	0.3	積 込 機 種	バックホウ (クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 又は クラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m ³										ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級										DID区間：無し											運 搬 距 離 (km)	1.5 以下	2.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	12.5 以下	18.5 以下	34.0 以下	60.0 以下		運 搬 日 数 (日)	1.5	1.7	2.1	2.4	2.6	3.2	3.8	4.7	6.3	9.5	DID区間：有り											運 搬 距 離 (km)	1.5 以下	2.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	11.5 以下	16.5 以下	26.5 以下	60.0 以下	運 搬 日 数 (日)	1.5	1.7	2.1	2.4	2.7	3.2	3.8	4.7	6.3	9.5	削除		歩掛の廃止
名 称	規 格	単位	土 留 方 式																																																																																																																										
			土 留 覆 工	土 留 開 放																																																																																																																									
普 通 作 業 員		人	2.69	1.55																																																																																																																									
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.28	0.20																																																																																																																									
クラムシェル運転	油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m ³	〃	0.53	0.39																																																																																																																									
小型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	〃	0.64	0.47																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	0.2	0.3																																																																																																																									
積 込 機 種	バックホウ (クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 又は クラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m ³																																																																																																																												
	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級																																																																																																																												
DID区間：無し																																																																																																																													
運 搬 距 離 (km)	1.5 以下	2.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	12.5 以下	18.5 以下	34.0 以下	60.0 以下																																																																																																																				
運 搬 日 数 (日)	1.5	1.7	2.1	2.4	2.6	3.2	3.8	4.7	6.3	9.5																																																																																																																			
DID区間：有り																																																																																																																													
運 搬 距 離 (km)	1.5 以下	2.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	11.5 以下	16.5 以下	26.5 以下	60.0 以下																																																																																																																			
運 搬 日 数 (日)	1.5	1.7	2.1	2.4	2.7	3.2	3.8	4.7	6.3	9.5																																																																																																																			
積算上の注意事項						(控え頁) 2／30																																																																																																																							

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由		廃止		改 正																																																																																									
現 行				改 正				備 考																																																																																					
4. 伸 縮 継 手 4－1 止水板設置施工歩掛 止水板設置作業の歩掛は、次表を標準とする。 表4.1 止水板設置歩掛 (10m当り) <table><tr><td>名 称</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td>人</td><td>0.48</td></tr><tr><td>止 水 板</td><td>m</td><td>10</td></tr></table> 4－2 目地材設置施工歩掛 目地材設置作業の歩掛は、次表を標準とする。 表4.2 目地材設置歩掛 (100㎡当り) <table><tr><td>名 称</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td>人</td><td>4.1</td></tr><tr><td>目 地 材</td><td>㎡</td><td>109</td></tr></table> (注) 1. 上表には、スリップバーの設置労務を含む。 なお、スリップバーの材料費については、別途計上する。 2. 特殊目地材の設置については、上記歩掛に含まれている。 特殊目地材の材料費は、必要量を別途計上する。 5. 防水工・防水層保護工 5－1 防水工施工歩掛 防水工の施工歩掛は、次表を標準とする。 表5.1 防水工施工歩掛 (100㎡当り) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="3">一 般 部 及 び 換 気 部</th><th colspan="3">特 殊 部</th></tr><tr><th rowspan="2">底 頂 部</th><th colspan="2">側 部</th><th rowspan="2">底 頂 部</th><th colspan="2">側 部</th></tr><tr><th>内 防 水</th><th>外 防 水</th><th>内 防 水</th><th>外 防 水</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.2</td><td>2.9</td><td>1.9</td><td>3.4</td><td>3.1</td><td>2.3</td></tr><tr><td>防 水 工</td><td>〃</td><td>3.8</td><td>11.2</td><td>7.9</td><td>10.6</td><td>12.0</td><td>9.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>1.7</td><td>4.8</td><td>2.8</td><td>4.7</td><td>5.3</td><td>3.3</td></tr><tr><td>ボ ー ド</td><td>㎡</td><td>—</td><td>110</td><td>—</td><td>—</td><td>110</td><td>—</td></tr><tr><td>防 水 シ ー ト</td><td>〃</td><td colspan="6">125</td></tr><tr><td>ブ ラ イ マ ー</td><td>ℓ</td><td colspan="6">37</td></tr></table> (注) 1. 内防水側部には、ボード張の労務を含む。 2. 防水シート及びボードの数量は、割増分を含む。 3. 一般部とは、共同溝の標準的な断面部のブロックをいう。 換気部とは、構内の温度及び湿度の調節並びに有毒ガスの排除を目的とした、強制換気口又は自然換気口等のブロックをいう。 特殊部とは、支線の分岐箇所、ケーブルのジョイントホール、敷設物件の導入用入孔及び搬入口等のブロックをいう。 4. 「外防水」とは、コンクリート打設後に防水シート等を貼付する作業スペースが確保出来る場合に行う防水工をいう。 「内防水」とは、足場等がなく、コンクリート打設後に防水シート等を貼付する作業スペースが確保出来ない場合に、あらかじめ撤去しない埋設型枠等に貼付し施工する防水工をいう。 IV-4-①-11				名 称	単位	数量	型 わ く 工	人	0.48	止 水 板	m	10	名 称	単位	数量	型 わ く 工	人	4.1	目 地 材	㎡	109	名 称	単位	一 般 部 及 び 換 気 部			特 殊 部			底 頂 部	側 部		底 頂 部	側 部		内 防 水	外 防 水	内 防 水	外 防 水	土 木 一 般 世 話 役	人	1.2	2.9	1.9	3.4	3.1	2.3	防 水 工	〃	3.8	11.2	7.9	10.6	12.0	9.5	普 通 作 業 員	〃	1.7	4.8	2.8	4.7	5.3	3.3	ボ ー ド	㎡	—	110	—	—	110	—	防 水 シ ー ト	〃	125						ブ ラ イ マ ー	ℓ	37						削除				歩掛の廃止	
名 称	単位	数量																																																																																											
型 わ く 工	人	0.48																																																																																											
止 水 板	m	10																																																																																											
名 称	単位	数量																																																																																											
型 わ く 工	人	4.1																																																																																											
目 地 材	㎡	109																																																																																											
名 称	単位	一 般 部 及 び 換 気 部			特 殊 部																																																																																								
		底 頂 部	側 部		底 頂 部	側 部																																																																																							
			内 防 水	外 防 水		内 防 水	外 防 水																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役	人	1.2	2.9	1.9	3.4	3.1	2.3																																																																																						
防 水 工	〃	3.8	11.2	7.9	10.6	12.0	9.5																																																																																						
普 通 作 業 員	〃	1.7	4.8	2.8	4.7	5.3	3.3																																																																																						
ボ ー ド	㎡	—	110	—	—	110	—																																																																																						
防 水 シ ー ト	〃	125																																																																																											
ブ ラ イ マ ー	ℓ	37																																																																																											
積算上の注意事項		(控え頁) 3／30																																																																																											

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由		廃止		改 正 現 行																																																											
現 行				改 正		備 考																																																									
5－2 防水層保護工施工歩掛 防水層保護工の施工歩掛は、次表を標準とする。 表5. 2 防水層保護工施工歩掛 (100㎡当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">一般部及び換気部</th><th colspan="2">特 殊 部</th></tr><tr><th>底 頂 部</th><th>側 部</th><th>底 頂 部</th><th>側 部</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>0.5</td><td>1.6</td><td>1.2</td><td>1.9</td></tr><tr><td>防 水 工</td><td>#</td><td>2.3</td><td>8.4</td><td>5.7</td><td>10.1</td></tr><tr><td>モ ル タ ル</td><td>㎡</td><td>3.4</td><td>2.4</td><td>3.4</td><td>2.4</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>2</td><td>7</td><td>1</td><td>6</td></tr></table> (注) 1. 上表は、底頂部30mm、側壁部15mm程度の保護厚さに適用する。 2. 諸雑費は、底頂部についてはモルタルポンプ等、側部についてはモルタルポンプ及びワイヤラス等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生材を使用する場合は、別途計上する。 4. 一般部、換気部、特殊部の定義については、防水工と同様である。 6. 埋 戻 工 6－1 機種を選定 埋戻工における機械・規格は、次表を標準とする。 表6. 1 機種を選定 <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>施 工 区 分</th><th>名 称</th><th>規 格</th></tr><tr><td rowspan="2">敷均し</td><td>①</td><td>人 力</td><td></td></tr><tr><td>②, ③</td><td>ブルドーザ</td><td>普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級</td></tr><tr><td rowspan="4">締固め</td><td>①</td><td>水締め (人力)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">②</td><td>振 動 ロ ー ラ (舖 装 用)</td><td>ハンドガイド式 運転質量0.8～1.1t</td></tr><tr><td>ラ ン マ</td><td>質量60～80kg</td></tr><tr><td>③</td><td>タイヤローラ</td><td>普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td></tr></table> (注) 1. 人力施工における水締めは、W (土留壁と躯体間の埋戻幅) が0.9m未満の場合とする。 2. 施工区分②の埋戻施工高さは、躯体上面から上部50cmを標準とする。 《土留覆工方式》 仮覆旧厚 ③ ② ① ① W W 《土留H放方式》 仮覆旧厚 ③ ② ① ① W W 図6-1 施工区分 IV-4-①-12				名 称	単位	一般部及び換気部		特 殊 部		底 頂 部	側 部	底 頂 部	側 部	土 木 一 般 世 話 役	人	0.5	1.6	1.2	1.9	防 水 工	#	2.3	8.4	5.7	10.1	モ ル タ ル	㎡	3.4	2.4	3.4	2.4	諸 雑 費 率	%	2	7	1	6	作 業 種 別	施 工 区 分	名 称	規 格	敷均し	①	人 力		②, ③	ブルドーザ	普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級	締固め	①	水締め (人力)		②	振 動 ロ ー ラ (舖 装 用)	ハンドガイド式 運転質量0.8～1.1t	ラ ン マ	質量60～80kg	③	タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	削除		歩掛の廃止
名 称	単位	一般部及び換気部				特 殊 部																																																									
		底 頂 部	側 部	底 頂 部	側 部																																																										
土 木 一 般 世 話 役	人	0.5	1.6	1.2	1.9																																																										
防 水 工	#	2.3	8.4	5.7	10.1																																																										
モ ル タ ル	㎡	3.4	2.4	3.4	2.4																																																										
諸 雑 費 率	%	2	7	1	6																																																										
作 業 種 別	施 工 区 分	名 称	規 格																																																												
敷均し	①	人 力																																																													
	②, ③	ブルドーザ	普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級																																																												
締固め	①	水締め (人力)																																																													
	②	振 動 ロ ー ラ (舖 装 用)	ハンドガイド式 運転質量0.8～1.1t																																																												
		ラ ン マ	質量60～80kg																																																												
	③	タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t																																																												
積算上の注意事項						(控え頁) 4／30																																																									

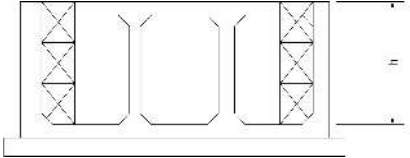
工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由	廃止	改 正																																						
		現 行																																						
現 行		改 正		備 考																																				
6－2 施工歩掛 6－2－1 施工区分①の埋戻工 施工区分①における埋戻工（敷均し，締固め）の施工歩掛は，次表を標準とする。 表6.2 埋戻工施工歩掛 (100m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>21</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>0.2</td></tr></table> (注) 1．水締め施工における水について，地下水等以外を使用する場合は，水代を別途計上する。 2．諸雑費は，工事用水中モータポンプ等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3．購入土等が必要な場合は，別途計上する。 6－2－2 施工区分②の埋戻工 施工区分②における埋戻工（敷均し，締固め）の施工歩掛は，次表を標準とする。 表6.3 埋戻工施工歩掛 (100m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>3.3</td></tr><tr><td>ブ ル ド ー ザ 運 転</td><td>h</td><td>5.1</td></tr><tr><td>振動ローラ(舗装用)運転</td><td>〃</td><td>5.2</td></tr><tr><td>ラ ン マ 運 転</td><td>日</td><td>1.3</td></tr></table> (注) 購入土等が必要な場合は，別途計上する。 6－2－3 施工区分③の埋戻工 施工区分③における埋戻工（敷均し，締固め）の施工歩掛は，次表を標準とする。 表6.4 埋戻工施工歩掛 (100m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.0</td></tr><tr><td>ブ ル ド ー ザ 運 転</td><td>h</td><td>3.6</td></tr><tr><td>タイヤローラ運転</td><td>〃</td><td>3.0</td></tr></table> IV-4-①-13		名 称	単位	数量	普 通 作 業 員	人	21	諸 雑 費 率	%	0.2	名 称	単位	数量	普 通 作 業 員	人	3.3	ブ ル ド ー ザ 運 転	h	5.1	振動ローラ(舗装用)運転	〃	5.2	ラ ン マ 運 転	日	1.3	名 称	単位	数量	普 通 作 業 員	人	2.0	ブ ル ド ー ザ 運 転	h	3.6	タイヤローラ運転	〃	3.0	削除		歩掛の廃止
名 称	単位	数量																																						
普 通 作 業 員	人	21																																						
諸 雑 費 率	%	0.2																																						
名 称	単位	数量																																						
普 通 作 業 員	人	3.3																																						
ブ ル ド ー ザ 運 転	h	5.1																																						
振動ローラ(舗装用)運転	〃	5.2																																						
ラ ン マ 運 転	日	1.3																																						
名 称	単位	数量																																						
普 通 作 業 員	人	2.0																																						
ブ ル ド ー ザ 運 転	h	3.6																																						
タイヤローラ運転	〃	3.0																																						
積算上の注意事項				(控え頁) 5／30																																				

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由		廃止		改 正		現 行																																			
現 行				改 正				備 考																																	
7. 基礎砕石工 7－1 材料の使用料 材料の使用量は、次式による。 使用量（m³）＝設計数量（m³）×（1＋K）……式 7. 1 K：ロス率 表7. 1 ロス率(K) <table><tr><td>材 料</td><td>ロ ス 率</td></tr><tr><td>クラッシャラン等</td><td>＋0.10</td></tr></table> 7－2 基礎砕石工施工歩掛 基礎砕石工の施工歩掛は、次表を標準とする。 表7. 2 基礎砕石工施工歩掛（100m²当り） <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.2</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.4</td></tr><tr><td>小 型 バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転</td><td>標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08m³（平積0.06m³）</td><td>日</td><td>0.6</td></tr><tr><td>ク ラ ム シ ェ ル 運 転</td><td>油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m³</td><td>h</td><td>3.4</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>4</td></tr></table> (注) 1. 上表には、坑内への砕石投入する歩掛を含む。 2. 基礎砕石の敷均し厚は20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 3. 諸雑費は、締固め機械等の損料及び燃料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 IV-4-①-14				材 料	ロ ス 率	クラッシャラン等	＋0.10	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.2	特 殊 作 業 員		人	0.2	普 通 作 業 員		人	2.4	小 型 バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08m ³ （平積0.06m ³ ）	日	0.6	ク ラ ム シ ェ ル 運 転	油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m ³	h	3.4	諸 雑 費 率		%	4	削除				歩掛の廃止	
材 料	ロ ス 率																																								
クラッシャラン等	＋0.10																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.2																																						
特 殊 作 業 員		人	0.2																																						
普 通 作 業 員		人	2.4																																						
小 型 バ ッ ク ホ ウ （ ク ロ ー ラ 型 ） 運 転	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08m ³ （平積0.06m ³ ）	日	0.6																																						
ク ラ ム シ ェ ル 運 転	油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m ³	h	3.4																																						
諸 雑 費 率		%	4																																						
積算上の注意事項								(控え頁) 6／30																																	

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																									
現 行		改 正	備 考																								
8. 足 場・支 保 工 8－1 足場工 8－1－1 現場打ち躯体用足場工 足場工は、手摺先行型枠組足場を標準とし、高さ2m以上の構造物について計上する。 足場材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表8.1 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り)</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.5</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>4.6</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>5.5</td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊</td><td>日</td><td>0.6</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>47</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、足場工仮設材等の費用であり、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 ・手摺先行型枠組足場における仮設材内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、手摺、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺枠（二段手摺の機能を有する）、幅木、階段、養生ネット（メッシュシート）等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 8－1－2 内防水用足場工 足場工は、手摺先行型枠組足場を標準とし、高さ2m以上の側部内防水工箇所について計上する。 足場材の設置・撤去歩掛は、「8－1－1 現場打ち躯体用足場工」によるものとし、計上数量の算出は、次図による。  $A = 2 \times h \times \xi$ A : 足場工面積 (掛m²) ξ : 延長 (m) 図8－1 足場工設置区分 IV-4-①-15		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.5	と び 工		〃	4.6	普 通 作 業 員		〃	5.5	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	日	0.6	諸 雑 費 率		%	47	削除	歩掛の廃止
名 称	規 格	単 位	数 量																								
土 木 一 般 世 話 役		人	1.5																								
と び 工		〃	4.6																								
普 通 作 業 員		〃	5.5																								
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	日	0.6																								
諸 雑 費 率		%	47																								
積算上の注意事項			(控え頁) 7 / 30																								

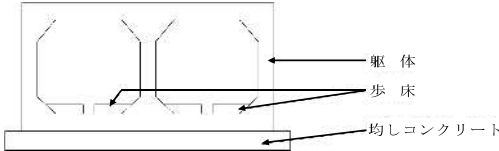
工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由		廃止		改 正		現 行																																																																										
現 行				改 正				備 考																																																																								
8-2 支保工 8-2-1 工法の選定 工法の選定は、図8-2による。 スタート 平均設置高 H<4m パイプサポート支保 YES 支保耐力 f≦60kN/m² YES くさび結合支保 NO 支保耐力 f≦80kN/m²かつ 最大設置高 H≦30m YES 別 途 検 討 NO 図8-2 工法の選定 8-2-2 支保工施工歩掛 支保材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 表8.2 支保材設置・撤去歩掛 (100空m³当り) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">支保耐力f (kN/m²)</th></tr><tr><th colspan="2">パイプサポート支保</th><th colspan="2">くさび結合支保</th></tr><tr><th>f≦40</th><th>40<f≦60</th><th>f≦40</th><th>40<f≦80</th></tr><tr><td></td><td>コンクリート厚 (t) (参考)</td><td>cm</td><td>t≦120</td><td>120<t≦190</td><td>t≦120</td><td>120<t≦250</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>2.6</td><td>4.2</td><td>1.4</td><td>2.1</td></tr><tr><td>型わく工</td><td></td><td>#</td><td>4.7</td><td>8.7</td><td>1.3</td><td>2.7</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>#</td><td>2.2</td><td>2.4</td><td>3.3</td><td>4.2</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>#</td><td>5.1</td><td>11.1</td><td>3.3</td><td>6.0</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊</td><td>日</td><td colspan="2">—</td><td>0.5</td><td>1.2</td></tr><tr><td>トラッククレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9t吊</td><td>#</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td colspan="2">—</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td colspan="2">14</td><td colspan="2">32</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、仮設材等の費用であり、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 ・パイプサポート支保における仮設材内訳は、パイプサポート、型枠受台、根がらみ、水平つなぎ、根がらみクランプ、直交クランプ、頭つなぎ等である。 ・くさび結合支保における仮設材内訳は、ジャッキベース、大引受ジャッキ、建地材、つなぎ材、斜材等である。 2. 参考値のコンクリート厚について、張出し部等で断面の変化する場合のコンクリート厚は、平均とする。 3. ラフテレーンクレーン、トラッククレーンは、賃料とする。				名 称	規 格	単位	支保耐力f (kN/m²)				パイプサポート支保		くさび結合支保		f≦40	40<f≦60	f≦40	40<f≦80		コンクリート厚 (t) (参考)	cm	t≦120	120<t≦190	t≦120	120<t≦250	土木一般世話役		人	2.6	4.2	1.4	2.1	型わく工		#	4.7	8.7	1.3	2.7	とび工		#	2.2	2.4	3.3	4.2	普通作業員		#	5.1	11.1	3.3	6.0	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊	日	—		0.5	1.2	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	#	0.5	0.5	—		諸 雑 費 率		%	14		32		削除				歩掛の廃止	
名 称	規 格	単位	支保耐力f (kN/m²)																																																																													
			パイプサポート支保				くさび結合支保																																																																									
			f≦40	40<f≦60	f≦40	40<f≦80																																																																										
	コンクリート厚 (t) (参考)	cm	t≦120	120<t≦190	t≦120	120<t≦250																																																																										
土木一般世話役		人	2.6	4.2	1.4	2.1																																																																										
型わく工		#	4.7	8.7	1.3	2.7																																																																										
とび工		#	2.2	2.4	3.3	4.2																																																																										
普通作業員		#	5.1	11.1	3.3	6.0																																																																										
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊	日	—		0.5	1.2																																																																										
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	#	0.5	0.5	—																																																																											
諸 雑 費 率		%	14		32																																																																											
IV-4-①-16																																																																																
積算上の注意事項								(控え頁) 8／30																																																																								

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由		廃止		改 正		現 行																																																																																			
現 行				改 正				備 考																																																																																	
9. 型 枠 工 9－1 一般型枠の製作・設置・撤去歩掛 一般型枠の製作・設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 表9. 1 一般型枠の製作・設置・撤去歩掛 (100m²当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>3.9</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td></td><td>人</td><td>18.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>8.4</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>20</td></tr></table> (注) 1. 上表には、はく離剤塗布及びケレン作業を含む。 2. 諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上げ(下け)機械に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9－2 均し基礎コンクリート型枠の製作・設置・撤去歩掛 均し基礎コンクリート型枠の製作・設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 表9. 2 均し基礎コンクリート型枠の製作・設置撤去歩掛 (10m²当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.23</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td></td><td>人</td><td>0.64</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.58</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>18</td></tr></table> (注) 1. 上表には、はく離剤塗布及びケレン作業を含む。 2. 諸雑費は、型枠材及びはく離剤等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9－3 撤去しない埋設型枠の製作・設置歩掛 撤去しない埋設型枠の製作・設置歩掛は、次表を標準とする。 表9. 3 撤去しない埋設型枠の製作・設置歩掛 (100m²当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>2.4</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td></td><td>人</td><td>15.4</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>6.9</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>25</td></tr></table> (注) 諸雑費は、型枠材、さん木、洋釘、電気ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上げ(下け)機械に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9－4 歩床部型枠の製作・設置・撤去歩掛 歩床部型枠の製作・設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 表9. 4 歩床部型枠の製作・設置・撤去歩掛 (排水溝延長100m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.6</td></tr><tr><td>型 わ く 工</td><td></td><td>人</td><td>4.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.4</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>2</td></tr></table> (注) 1. 上表には、はく離剤塗布、ケレン作業、型枠撤去後の排水溝の修正を含む。 2. 諸雑費は、型枠材、はく離剤等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 IV-4-①-17				名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	3.9	型 わ く 工		人	18.1	普 通 作 業 員		人	8.4	諸 雑 費 率		%	20	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.23	型 わ く 工		人	0.64	普 通 作 業 員		人	0.58	諸 雑 費 率		%	18	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	2.4	型 わ く 工		人	15.4	普 通 作 業 員		人	6.9	諸 雑 費 率		%	25	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.6	型 わ く 工		人	4.1	普 通 作 業 員		人	2.4	諸 雑 費 率		%	2	削除				歩掛の廃止	
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	3.9																																																																																						
型 わ く 工		人	18.1																																																																																						
普 通 作 業 員		人	8.4																																																																																						
諸 雑 費 率		%	20																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.23																																																																																						
型 わ く 工		人	0.64																																																																																						
普 通 作 業 員		人	0.58																																																																																						
諸 雑 費 率		%	18																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	2.4																																																																																						
型 わ く 工		人	15.4																																																																																						
普 通 作 業 員		人	6.9																																																																																						
諸 雑 費 率		%	25																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	1.6																																																																																						
型 わ く 工		人	4.1																																																																																						
普 通 作 業 員		人	2.4																																																																																						
諸 雑 費 率		%	2																																																																																						
積算上の注意事項								(控え頁) 9／30																																																																																	

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																							
現 10. 鉄 筋 工 鉄筋工は、「第Ⅵ編第 2 章市場単価①－1 鉄筋工（太径鉄筋含む）」により別途計上する。 11. コンクリート工 コンクリート工は、下図に示すコンクリート打設に適用する。  図11－1 コンクリート打設区分 11－1 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量＝設計量×（1＋K）……式11. 1 K：ロス率 表11. 1 ロス率(K) <table><tr><th>材 料</th><th>打 設 区 分</th><th>ロ ス 率</th></tr><tr><td rowspan="3">レディーミクストコンクリート</td><td>軀 体 部</td><td>＋0.02</td></tr><tr><td>均 し コ ン ク リ ー ト 部</td><td>＋0.07</td></tr><tr><td>歩 床 部</td><td>＋0.09</td></tr></table> 11－2 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。 表11. 2 機種を選定 <table><tr><th>作 業 種 別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th></tr><tr><td>躯体部・均しコンクリート部の打設</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td></tr><tr><td>歩床部の打設</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力65～85m³/h</td></tr></table> 11－3 コンクリートポンプ車圧送コンクリートの適用 コンクリートポンプ車圧送コンクリートのスランプ値及び粗骨材の最大寸法は、次表の範囲とする。 表11. 3 コンクリートポンプ車圧送コンクリートの標準範囲 <table><tr><th>スランプ（cm）</th><th>粗骨材の最大寸法（mm）</th></tr><tr><td>8～12</td><td>40以下</td></tr></table> IV-4-①-18	材 料	打 設 区 分	ロ ス 率	レディーミクストコンクリート	軀 体 部	＋0.02	均 し コ ン ク リ ー ト 部	＋0.07	歩 床 部	＋0.09	作 業 種 別	機 械 名	規 格	躯体部・均しコンクリート部の打設	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	歩床部の打設	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力65～85m³/h	スランプ（cm）	粗骨材の最大寸法（mm）	8～12	40以下	改 正 削除	備 考
材 料	打 設 区 分	ロ ス 率																							
レディーミクストコンクリート	軀 体 部	＋0.02																							
	均 し コ ン ク リ ー ト 部	＋0.07																							
	歩 床 部	＋0.09																							
作 業 種 別	機 械 名	規 格																							
躯体部・均しコンクリート部の打設	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h																							
歩床部の打設	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力65～85m³/h																							
スランプ（cm）	粗骨材の最大寸法（mm）																								
8～12	40以下																								

工 種	共同溝工(2)
-----	---------

改 正 理 由	廃止	改 正																																									
		現 行																																									
現 行		改 正	備 考																																								
11－4 躯体部コンクリート工施工歩掛 11－4－1 コンクリートポンプ車打設歩掛 躯体部コンクリートポンプ車打設の施工歩掛は、次表を標準とする。 表11. 4 コンクリートポンプ車打設施工歩掛 (10m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0. 14</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0. 58</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0. 64</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車運転</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td><td>h</td><td>0. 92</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>1</td></tr></table> (注) 1. 上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。 2. 諸雑費は、パイプレータ損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 日当り標準打設量は、87m³とする。 4. コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合は、超えた部分の圧送管損料を計上する。また、超えた部分の圧送管延長分について次表の労務を組立・撤去歩掛として計上する。 なお、これにより難い場合は、別途考慮する。 表11. 5 圧送管組立・撤去歩掛 (10m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0. 50</td></tr></table> (注) 圧送管の固定足場（受枠）を必要とする場合は、別途計上する。 11－4－2 養生工 躯体部一般養生の施工歩掛は、次表を標準とする。 表11. 6 養生工歩掛 (10m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>0. 13</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>41</td></tr></table> (注) 1. 諸雑費は、シート・養生マット・角材・パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 給熱養生等の特別な養生を必要とする場合は、別途計上する。 IV-4-①-19		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0. 14	特 殊 作 業 員		〃	0. 58	普 通 作 業 員		〃	0. 64	コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	h	0. 92	諸 雑 費 率		%	1	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	0. 50	名 称	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	0. 13	諸 雑 費 率	%	41	削除		歩掛の廃止
名 称	規 格	単 位	数 量																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0. 14																																								
特 殊 作 業 員		〃	0. 58																																								
普 通 作 業 員		〃	0. 64																																								
コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	h	0. 92																																								
諸 雑 費 率		%	1																																								
名 称	単 位	数 量																																									
普 通 作 業 員	人	0. 50																																									
名 称	単 位	数 量																																									
普 通 作 業 員	人	0. 13																																									
諸 雑 費 率	%	41																																									
積算上の注意事項	(控え頁) 11／30																																										